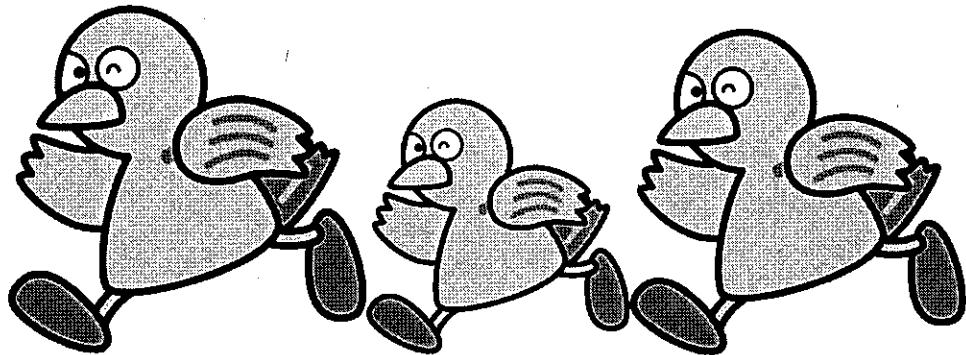


保健所年報

第62号

(平成25年度版)



埼玉県のマスコット
コバトン

平成26年10月

埼玉県川口保健所

目 次

第1部 川口保健所の概要

1 川口保健所管内の人口	1
2 川口保健所の組織	3
3 川口保健所の沿革	5

第2部 担当別事業概要

I 広域調整担当

1 広域的な健康危機管理機能	6
2 保健所業務の専門性強化	7
3 地域医療を守る共助の取組支援事業	9

II 総務・地域保健推進担当

1 衛生関係免許事務	10
2 地域保健医療計画の推進	11
3 統計	12
4 医務	13
5 医師臨床研修	15
6 学生実習	16
7 地域健康長寿企画支援事業	16
8 健康長寿のための埼玉県地域・職域連携推進事業	17

III 保健予防推進担当

1 母子保健	18
2 感染症予防	23
3 難病	29
4 原爆被爆者	32
5 肝炎治療医療費助成事業	32
6 健康づくり・栄養	33
7 歯科保健	35
8 精神保健福祉	36

IV 生活衛生・薬事担当

1 食品衛生	40
2 動物指導	43
3 環境衛生	45
4 薬事衛生	47

V 食品監視担当

1 食品監視担当業務概況（保健所統括表）	49
2 監視対象業種別施設数	50
3 平成25年度収去検査数	52
4 違反食品等発見処理状況	53

第3部 川口保健所管内の人団動態統計

第1表 平成24年人団動態総覧	55
第2表 出生数及び出生率(人口千対)の年次推移	56
第3表 死亡数及び死亡率(人口千対)の年次推移	56
第4表 乳児死亡数及び乳児死亡率(出生千対)の年次推移	57
第5表 死産数及び死産率(出産千対)の年次推移	57
第6表 婚姻数及び婚姻率(人口千対)の年次推移	58
第7表 離婚数及び離婚率(人口千対)の年次推移	58
第8表 平成24年死因順位別死亡数、死亡率(人口10万対)	59
第9表 合計特殊出生率の年次推移	60
第10表 管内人口の年次推移	61

第4部 関係団体一覧

1 埼玉県南部保健医療圏地域保健医療協議会委員名簿	62
2 川口地区救急医療対策協議会委員名簿	62
3 埼玉県蕨・戸田地区救急医療対策協議会委員名簿	62
4 埼玉県川口保健所感染症診査協議会委員名簿	63
5 蕨・戸田地区保健医療協議会役員名簿	63
6 管内関係団体	64

第1部 川口保健所の概要

川口保健所は、川口市、蕨市及び戸田市の3市を所管しています。この地域は県中央南部に位置し、荒川を挟んで東京に隣接し、都心から10～20km圏にあります。かつては、鉄物や機械などの工業がさかんでしたが、この利便性の良さから、駅周辺の地場産業の工場が移転した跡地を住宅用に開発するなど住宅都市化が進み、県内でも人口密度が高い地域となっています。

鉄道は、南北方向には3路線（JR京浜東北線及び埼京線、埼玉高速鉄道）がありますが、東西にはJR武蔵野線が川口市の一部を通っているだけです。同じく道路網も、南北に比べて東西はせいぜい弱な状況です。また、地域の大半を占める荒川低地の多くは、住宅地として利用されていますが、東部地区にある台地では、地域の特産品である植木などの畠が今も残っています。



1 川口保健所管内の人口

管内の面積は85.24km²で、約77万人（表1）が住んでいます。

川口市の人口は約57万人で、県内第2位です。戸田市は、近年、国内の総人口が減少する中、増加を続けています。また、蕨市は、面積が5.1km²と全国の市の中で最も小さい一方、人口密度は、特別区及び政令指定都市の区を除いて全国第1位となっています。

表1 世帯数・人口・人口密度

平成25年10月1日現在

	世帯数 (世帯)	人口(人)				人口密度	
		総数	県内順位	男	女	人口/km ²	県内順位
埼玉県	2,902,279	7,221,806		3,613,749	3,608,057	1,901.4	
管 内	325,740	766,101		390,416	375,685	8,987.6	
川口市	236,717	566,006	第2位	287,727	278,279	9,133.5	第2位
蕨 市	32,756	71,342	第30位	36,125	35,217	13,988.6	第1位
戸田市	56,267	128,753	第17位	66,564	62,189	7,086.0	第8位

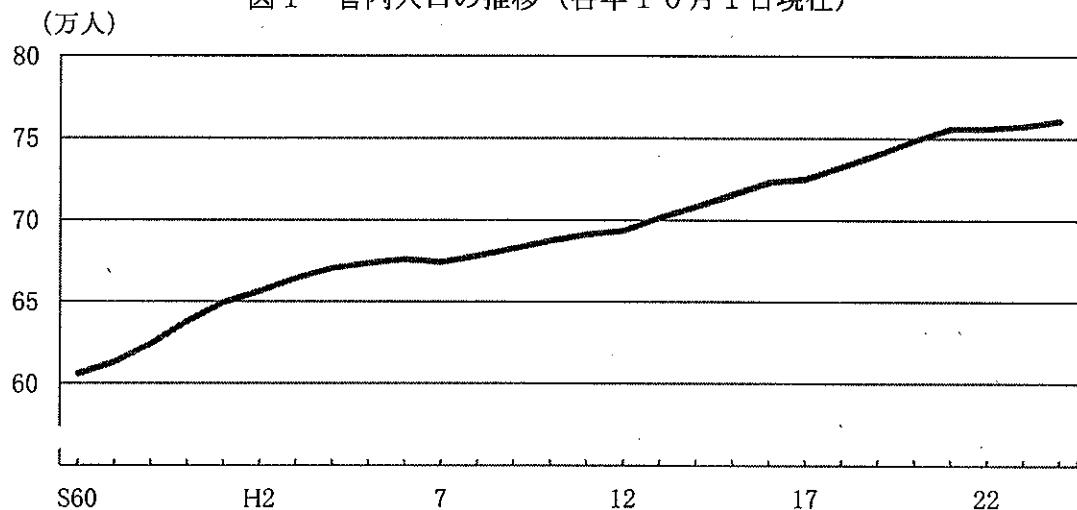
資料：埼玉県の推計人口（埼玉県総務部統計課）

※順位は63市町村中

(1) 人口の推移 一 昭和60年～平成25年 一

図1に管内人口の推移を示しました。管内人口は現在も増加傾向にあります。

図1 管内人口の推移(各年10月1日現在)



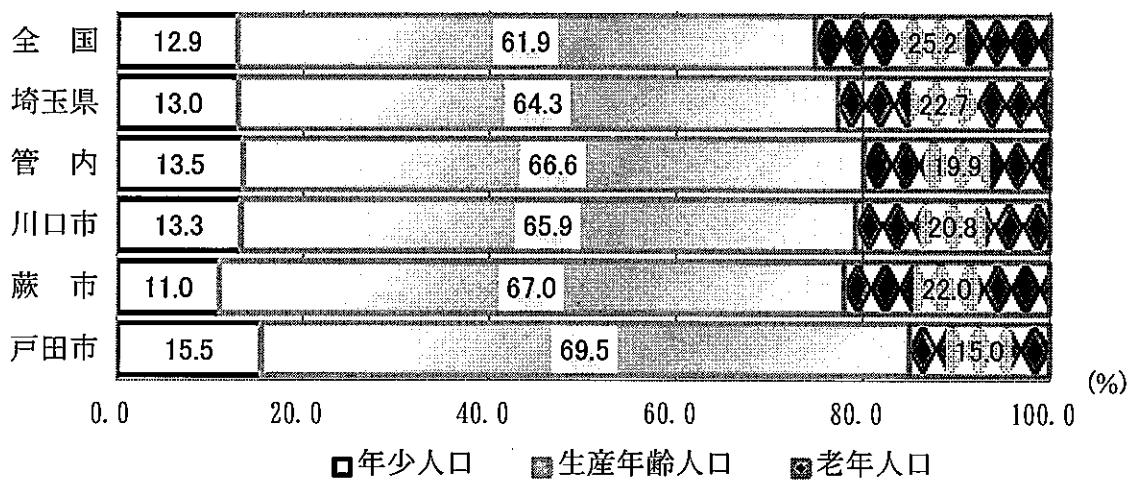
資料：国勢調査年(昭和60年、平成2, 7, 12, 17, 22年)は「国勢調査」(総務省統計局)、
それ以外の年は「埼玉県の推計人口」埼玉県総務部統計課

(2) 年齢3区分別人口割合(平成26年1月1日現在)

管内の平成26年1月1日現在の年齢3区分別人口割合は、年少人口(15歳未満の人口)が13.5%、生産年齢人口(15歳以上65歳未満の人口)が66.6%及び老人人口(65歳以上の人口)が19.9%でした(図2)。全国及び埼玉県と比べると、この管内は、年少及び生産年齢人口の割合が高く、老人人口の割合が低くなっています。

なお、戸田市は、平均年齢が39.7歳と、埼玉県で唯一40歳を下回っていました。

図2 年齢3区分別人口割合(平成26年1月1日現在)



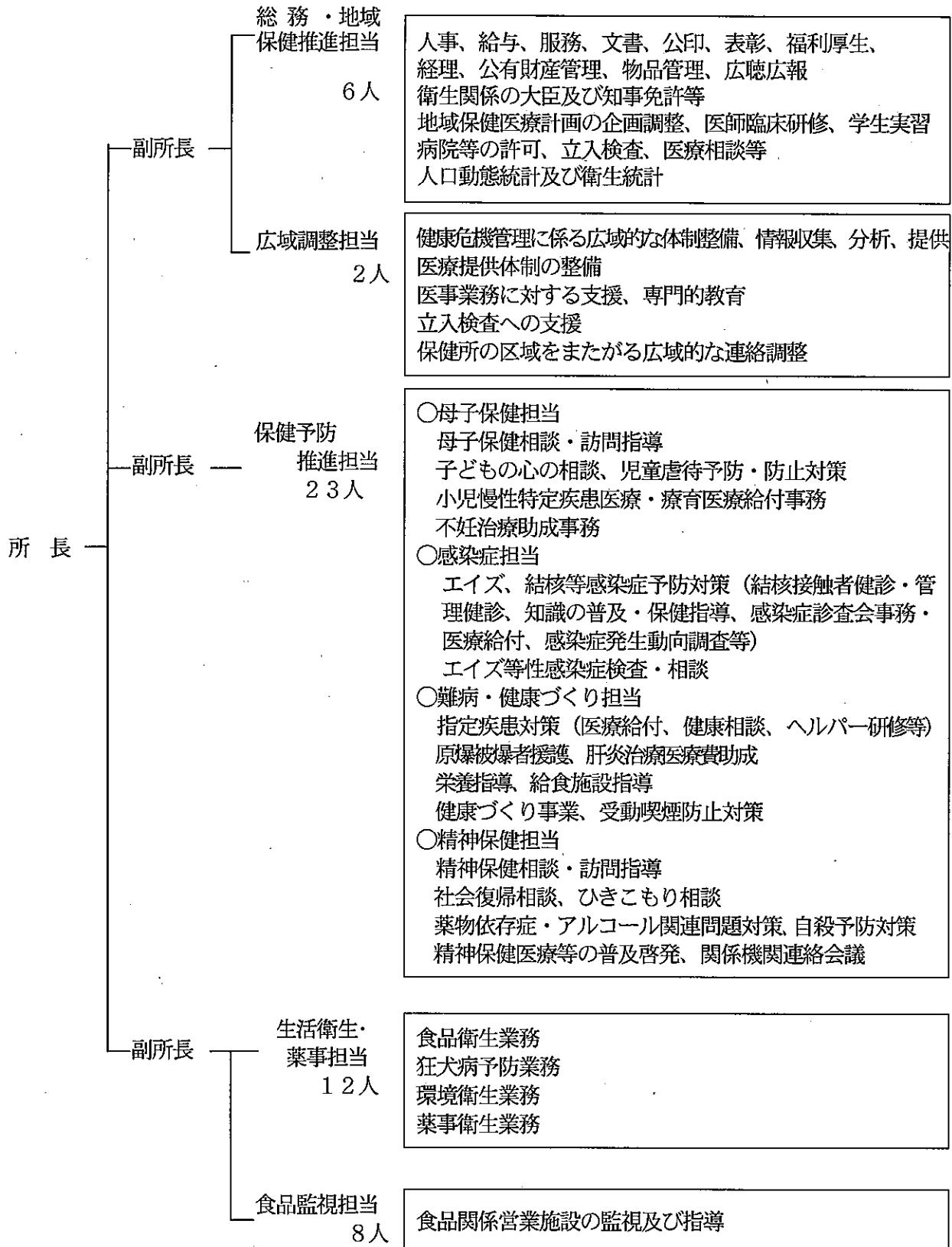
資料：全国のデータ 「推計人口(確定値)」 総務省統計局

埼玉県以下 「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告」 埼玉県総務部統計課

2 川口保健所の組織 (平成26年度)

(1) 事務分掌

職員数 55人



(2) 職種別内訳

職種別内訳		合	所	副	廣域調整担当	総務・地域保健推進担当	保健予防推進担当	生活衛生・薬事担当	食品監視担当
		計	長	長					
	合計	55	1	3	2	6	23	12	8
	医師	1	1						
	薬剤師	10		1	1			4	4
	獣医師	11						7	4
	管理栄養士	2					2		
	診療放射線技師	1					1		
	保健師	15		1			14		
	精神保健福祉相談員	2					2		
	動物指導職	1						1	
	一般事務	12		1	1	6	4		

3 川口保健所の沿革

川口保健所は、県内2番目の保健所として昭和14年11月10日、職員9人で発足しました。以来70年余、いくたびかの組織の変遷を経ながらも、住民に身近な地域保健の拠点として活動し続けています。

年 月	概 要
昭和14年11月	川口市上青木町1の2597番地(現上青木西2-14-17)に開設。 管内は、川口市、鳩ヶ谷町、草加町、新郷村、神根村、芝村、安行村、谷塚村、大門村、野田村、八条村、川柳村、新田村を区域とした(町村名は当時のもの)。
昭和25年12月	庶務課、衛生課、予防課の3課体制となる。
昭和28年 5月	草加町に出張所を設置し、主として対人保健サービスを実施。
昭和34年 3月	草加町出張所を廃止。
昭和38年 6月	旧庁舎完成。
昭和40年 5月	計画課、保健婦室を新設し、4課1室となる。
昭和42年 5月 (昭和45年5月)	草加保健所開設により、管内は川口市と鳩ヶ谷市の2市となる。 (5月1日、戸田・蕨保健所開設。蕨市、戸田市を管轄区域として、中央保健所から分離して発足。)
昭和48年 7月	衛生課を廃止し、食品衛生課及び環境公害課を新設。(5課1室)
昭和51年 9月	環境公害課が環境薬事課に、保健婦室が保健婦課となる。(6課)
昭和55年 4月	食品衛生課と環境薬事課を統合し、衛生課とする。(5課)
平成 3年 4月	計画課を廃止し、地域保健企画担当を新設。(4課1担当)
平成 7年11月	現庁舎が完成し、川口市前川1丁目11番1号へ移転。
平成 9年 4月	課制を廃止し、担当制に移行。(庶務担当、地域保健推進担当、保健予防推進担当、生活衛生・薬事担当の4担当)
平成18年 4月	戸田・蕨保健所と統合。 旧戸田・蕨保健所に、川口保健所戸田・蕨分室を設置。
	川口保健所(本所)に、庶務担当、地域保健推進担当、保健予防推進担当、生活衛生・薬事担当の4担当を、また戸田・蕨分室に、保健予防担当、食品監視担当の2担当をそれぞれ置く。
	※食品監視担当は、川口保健所管内のほか、朝霞保健所管内も担当。
平成19年 4月	庶務担当が総務担当となる。
平成22年 4月	戸田・蕨分室を廃止。
	広域調整担当を新設し、総務担当と地域保健推進担当を統合し、総務・地域保健推進担当とする。
	※広域調整担当は、川口保健所管内のほか、朝霞保健所管内も担当。
平成23年10月	川口市と鳩ヶ谷市が合併し、管内は川口市、蕨市、戸田市の3市となる。

第2部 担当別事業概要

I 広域調整担当

本県の保健・医療を取り巻く環境は、県民ニーズが多様化する中で、少子高齢社会の急速な進展や生活習慣病の増加など大きく変化しています。特に昨今は、医療従事者不足等による地域医療体制の脆弱化、インフルエンザ等の大規模な健康危機管理事案の発生、食に係る問題の複雑化など、地域保健上の課題の専門・高度化、広域化が進んでいます。このような中で、保健所のさらなる専門性の向上を図るとともに、所管区域を越えた保健所相互の連携強化が必要となっています。

このため平成22年度に、川口、春日部、狭山及び熊谷の4保健所が拠点保健所として位置づけられ、広域調整担当が設置されました。当保健所の担当区域は、川口保健所管内3市及び朝霞保健所管内6市1町です。各拠点保健所の広域調整担当は連携して、広域的な健康危機管理体制の構築、医事における立入検査及び指導業務に対する専門的かつ技術的な支援、各保健所の所管区域をまたがる広域的な連絡調整などを担っています。

1 広域的な健康危機管理機能

(1) 健康危機管理想定訓練の実施

日 時	平成25年12月20日（金） 13：30～16：30
場 所	川口保健所 大会議室
参加者	47名（川口・朝霞保健所管内市町危機管理主管課及び保健センター職員、保健所（川口・朝霞・拠点）職員、他の県職員等）
内 容	災害時（震度6強の大規模な震災）を想定してのシミュレーション訓練 ～発災後の経過（フェーズ）毎に付与されるシナリオに基づき対応・対策・課題をグループごとに検討～ 講師：国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 部長 金谷 泰宏 氏 研究部 上席主任研究官 石峯 康浩 氏

(2) 健康危機管理研修の実施

日 時	平成25年10月31日（木） 19：30～21：00
場 所	キュボ・ラ本館棟4階 川口市民ホール フレンディア
参加者	100名（地域保健医療関係者、管内各市危機管理担当課及び保健センター職員、消防・警察署、保健所職員等）
内 容	①講演I 「新型インフルエンザ等への行政対応について」 講師：埼玉県川口保健所長 土屋 久幸 氏 ②講演II 「川口市新型インフルエンザワクチン接種計画（案）概要」 講師：川口市保健センター所長 香山 祐司 氏 ③特別講演 「新たな感染症の発生への対応—新型インフルエンザを含めて—」 講師：川崎市健康安全研究所長 岡部 信彦 氏

(3) 蕨・戸田地区保健医療協議会

地域住民の健康の保持増進のために必要な諸事業の実施と調整を図ることを目的として、昭和48年度に発足しました。事務局は蕨市です。（平成20年度から）

会員	蕨戸田市医師会、蕨戸田歯科医師会、獣医師会戸田蕨分会、蕨市薬剤師会、戸田市薬剤師会、蕨市及び戸田市の保健衛生・環境・安全・教育・消防関係職員、川口保健所職員
定例 総会	日時 平成25年7月9日（火）13：30～14：30 場所 蕨市民会館 101
研修会	日時 平成25年10月15日（火）13：30～15：00 場所 蕨市民会館 101 内容 ①講演「地域連携を基盤とした在宅医療」 講師：医療法人明医研ハーモニークリニック 理事長 中根 晴幸 氏 ②パネルディスカッション 「今、地域で求められている在宅医療～在宅医療の現場から～」 コーディネーター： 医療法人明医研ハーモニークリニック 理事長 中根 晴幸 氏 パネリスト： 蕨・戸田地区保健医療協議会会长 金子 健二 氏 わらびとだ訪問看護ステーション看護師 鈴木 美和子 氏 居宅介護支援事業所「ケアサポート道」開設者 金子 道子 氏

2 保健所業務の専門性強化

(1) 保健所の医事業務に対する支援及び医務担当者への専門的教育

○ 医務業務事例検討会の実施（2回）

日 時	①平成25年8月21日（水）14：00～16：40 ②平成26年3月12日（火）14：00～16：45
場 所	①さいたま市保健所 第2会議室 ②春日部地方庁舎 3階 南会議室
参加者	川口及び春日部拠点保健所管内の保健所、さいたま市保健所職員等

(2) 医療機関への立入検査の支援

○ 川口保健所管内 28病院 ○ 朝霞保健所管内 6病院

(3) 医療安全研修の実施

日 時	平成25年11月28日(木) 13:30~15:00
場 所	川口保健所 大会議室
参加者	35名(管内医療機関の医師、看護師、事務職員及び行政機関職員等)
内 容	講演「医療安全～苦情・紛争などを防ぐために～」 講師：尾崎法律事務所代表・埼玉弁護士会副会長・埼玉県顧問弁護士 弁護士 尾崎 康氏

(4) 保健所別研修の実施

○ 施設における結核・感染症対策研修会

日 時	平成25年10月31日(木) 13:30~16:00
場 所	川口保健所 大会議室
参加者	70名(管内老人介護施設職員及び関係行政機関職員等)
内 容	①講義「保健所における結核患者の管理について」 講師：埼玉県川口保健所 保健予防推進担当 担当課長 林 静子 氏 ②講義「高齢者の結核について」 講師：埼玉県立循環器・呼吸器病センター呼吸器内科 副部長 倉島 一喜 氏 ③講義「施設における感染予防について～消毒を中心として～」 講師：埼玉県衛生研究所 臨床微生物担当 主任研究員 倉園 貴至 氏

○ 在宅医療・介護連携推進研修会

日 時	平成25年11月15日(金) 13:30~15:30
場 所	川口保健所 大会議室
参加者	109名(医療従事者、管内関係行政機関職員等)
内 容	①講義「在宅医療の現状と課題」 講師：埼玉県医療整備課 総務・医療企画担当 主幹 武井 裕之 氏 ②講義「地域の限られた資源で急速な高齢化をいかに乗り越えていくか」 講師：東埼玉総合病院 在宅医療連携拠点事業推進室長 中野 智紀 氏

○ 保健師の現任教育

日 時	平成25年12月6日(金) 13:30~17:00
場 所	川口保健所 大会議室
参加者	21名(管内市及び県保健所保健師)
内 容	講演「保健師記録の書き方」 講師：杏林大学保健学部看護学科 准教授 山口 佳子 氏

3 地域医療を守る共助の取組支援事業（拠点保健所平成25年度新規事業）

(1) 概要

小児救急の適正受診を推進するため、乳幼児の保護者が、子供の健康や病気にかかった時の適切な対応について自ら学ぶことができるよう、NPOに自主的な勉強会等についての事業を委託しました。

(2) 受託者

特定非営利活動法人 子育て応援クラブむくむく

(3) 主な事業実績

○ 小児医療講座

日 時	平成25年9月19日 (木) 10:30~11:45
場 所	キュボ・ラM4階 川口市民パートナーステーション会議室
参加者	33名(子育て中の保護者、NPO関係者、保健所職員等)
内 容	講演「我が子の様子～お医者さんとの付き合い方～」 講師：一般社団法人 知ろう小児医療 守ろう子ども達の会 代表 阿真 京子 氏

○ 小児救急講演会

日 時	平成25年11月17日 (日) 10:15~12:15
場 所	川口保健所 大会議室
参加者	58名(子育て中の保護者、NPO関係者、保健所職員等)
内 容	講演「それって本当に119番？ どんな時に救急医療にかかればいいの？」 講師：あかちゃんとこどもクリニック院長 田中 秀朋 氏

上記のほか、勉強会（4回）やアンケート調査（110名）を実施しました。

II 総務・地域保健推進担当

1 衛生関係免許事務

県内の各保健所では、県民サービスの向上を目的として、衛生関係の厚生労働大臣免許及び知事免許等に関する事務を取り扱っています。

平成25年度の免許申請等の受理件数は下表のとおりです。

(1) 厚生労働大臣免許

平成25年度 単位：件

	免許申請	訂正・書換え	再交付	まつ消除削除	計	参考) H25 埼玉県
医 師	21	14	1	4	40	434
歯 科 医 師	3	1	4	-	8	159
薬 剤 師	56	51	2	-	109	992
管 理 栄 養 士	34	22	7	-	63	658
保 健 師	52	18	-	-	70	846
助 産 師	32	3	1	-	36	161
看 護 師	255	187	10	1	453	4,406
診 療 放 射 線 技 師	14	12	2	-	28	189
臨 床 檢 查 技 師	27	23	2	-	52	437
衛 生 檢 查 技 師	-	-	-	-	-	10
理 学 療 法 士	37	13	1	-	51	690
作 業 療 法 士	21	8	-	-	29	317
視 能 訓 練 士	7	1	-	-	8	52
歯 科 技 工 士	6	-	-	-	6	82
計	565	353	30	5	953	9,433

(2) 埼玉県知事免許

平成25年度 単位：件

	免許申請	訂正・書換え	再交付	まつ消除削除	計	参考) H25 埼玉県
調 理 師	201	27	30	-	258	2,775
製 菓 衛 生 師	13	-	-	-	13	174
クリーニング師	1	-	-	-	1	52
准 看 護 師	62	24	3	-	89	1,187
栄 養 士	68	32	6	-	106	1,830
登 錄 販 売 者	55	3	3	-	61	666
診 療 エ ッ クス 線 技 師	-	-	-	-	-	-
旧 保 健 婦	-	-	-	-	-	-
旧 助 産 婦	-	-	-	-	-	-
旧 看 護 婦	-	-	-	-	-	-
計	400	86	42	-	528	6,684

(3) 他県知事免許

平成25年度 単位：件

	免許申請	訂正・書換え	再交付	まつ消除削除	計	参考) H25 埼玉県
准 看 護 師	…	16	3	-	19	135

2 地域保健医療計画の推進

当保健所では、平成25年度から29年度の5年間を計画年度とする、第6次埼玉県地域保健医療計画に基づく南部保健医療圏（川口市・蕨市・戸田市）重点取組の推進を図っています。

また、平成25年度から在宅医療部会を設置し、課題等について協議を行っています。

(1) 南部保健医療圏地域保健医療協議会

ア 構成員

- ・保健医療供給者側代表（医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関等）
- ・保健医療受給者側代表（母子愛育会、食生活改善推進員協議会）
- ・行政側代表（各市、保健所長等） 計19人

イ 開催日

平成25年8月2日（金）13：15～14：45

ウ 議事

- ・第5次埼玉県地域保健医療計画の南部保健医療圏の重点取組の評価について
- ・第6次埼玉県地域保健医療計画の南部保健医療圏の重点取組について
- ・南部保健医療圏地域保健医療協議会「在宅医療部会」の設置について
- ・新型インフルエンザ対策について
- ・がん診療連携拠点病院の指定更新に係る地域保健医療圏の意向確認について

(2) 南部保健医療圏地域保健医療協議会 在宅医療部会

ア 構成員

- ・協議会委員関係機関（医師会、歯科医師会、薬剤師会等）
- ・在宅医療関係機関（医療機関等）
- ・行政（各市、保健所長等） 計23人

イ 開催日

平成25年10月22日（火）13：15～14：45

ウ 議事

- ・埼玉県及び川口保健所の在宅医療推進の取組みについて
- ・各機関における在宅医療等の取組みの状況・課題について

3 統計

厚生行政施策の基礎資料を得るために厚生労働省が行っている、人口動態調査をはじめとする各種衛生調査事務を行っています。調査内容は、埼玉県知事（保健医療部保健医療政策課）を通じて厚生労働省に送付されます。

なお、結果は厚生労働省や埼玉県（保健医療部保健医療政策課）のホームページから検索することができます。

- ※ 厚生労働省の統計のページ http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
政府統計の総合窓口 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>
埼玉県ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/>

保健所が行っている主な統計調査の概要は次のとおりです。

調査名・調査頻度・最新調査日等	概 要
人口動態調査 (毎月)	各市町村に提出された出生、死亡、死産、婚姻及び離婚についての届出に基づいて行われる調査。
国民生活基礎調査 (毎年・抽出調査) 平成 25 年 6 月 6 日：大規模調査 14 地区 699 世帯	保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項についての調査。3 年ごとに大規模な調査を実施し、中間の各年には、世帯の基本的事項及び所得の状況について小規模で簡易な調査を実施。
医師・歯科医師・薬剤師調査 (2年に1度) 平成 24 年 12 月 31 日	医師、歯科医師及び薬剤師について、性、年齢、業務の種別、従事場所及び診療科名（薬剤師を除く。）等による分布を明らかにすることを目的とした調査。
衛生行政報告例 (毎年、項目により 2 年に 1 度) 平成 24 年 12 月 31 日	保健所で実施している、衛生関係諸法規の施行に伴う衛生行政についての調査。精神保健福祉関係、栄養関係、生活衛生関係、食品衛生関係、医療関係、薬事関係、母体保護関係、特定疾患（難病）関係及び狂犬病予防関係等、内容は多岐にわたる。看護師・保健師・助産師・歯科衛生士等は、2 年に 1 度の調査項目。
医療施設調査 ①動態調査(毎月) ②静態調査(3年に1度) 平成 23 年 10 月 1 日	病院、診療所及び歯科診療所について、分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握することを目的とした調査。

なお、平成 25 年度に行った上記以外の統計調査は下記のとおりです。

- (1) 病院報告（毎月）
 - (2) 地域保健・健康増進事業報告（毎年）
 - (3) 全国家庭動向調査（社会保障・人口問題基本調査） 平成 25 年 7 月 1 日 3 地区 158 世帯
- ※ 保健予防推進担当で実施
- (4) 国民健康・栄養調査（毎年）
 - (5) 感染症発生動向調査（毎週・毎月）

4 医務

(1) 医療施設の状況

平成26年3月31日現在

病院	有床	一般診療所		歯科診療所	助産所	施術所	歯科技工所
		無床	合計				
川口市	19	18	278	296	284	14	…
蕨市	3	-	47	47	43	-	125
戸田市	6	3	75	78	58	5	128
計	28	21	400	421	385	19	253
							133

注：1 施術所とは、あん摩マッサージ、指圧、はり、きゅう及び柔道整復を行う施設（出張専業を含む。）。

2 川口市の施術所は川口市が所管しているため「…」で表記している。

(2) 病院・一般診療所の病床数

平成26年3月31日現在

	病院							診療所	
	施設数 実数	病床数 総数	一 般	療 養	精 神	結 核	感染症	有床 施設数	病床数
川口市	19	3,528	2,428	642	438	20	-	18	255
蕨市	3	236	130	106	-	-	-	-	-
戸田市	6	1,363	639	174	550	-	-	3	53
計	28	5,127	3,197	922	988	20	-	21	308

(3) 事務処理状況

平成25年度

	病院	一 般 診療所	歯科 診療所	助産所	施術所	歯科 技工所	計
開設許可	-	52	10	-	-	-	62
使用許可	27	5	-	-	-	-	32
開設届等	-	72	20	3	9	6	110
廃止届等	-	67	18	3	15	2	105
上記以外の 許可・届出等	119	268	118	-	20	2	527

注：1 開設届等には、再開届及び出張業務開始届を含む。

2 廃止届等には、死亡届及び休止届を含む。

3 施術所とは、あん摩マッサージ、指圧、はり、きゅう及び柔道整復を行う施設（出張専業を含む。）。

(4) 救急告示医療機関数 平成26年3月31日現在

区分	川口市	蕨市	戸田市
病院	14	1	4
診療所	2	—	1

(5) 救急医療体制 平成26年4月1日現在

ア 川口地区（川口市）

- (イ) 初期救急医療体制
 - ① 在宅当番医 川口市医師会
 - ② 在宅歯科当番医 川口歯科医師会
- (ロ) 第二次救急医療体制 病院群輪番制 (10病院)
- (ハ) 第三次救急医療体制 埼玉県救命救急センター（川口市立医療センター内）
- (タ) 小児夜間救急医療体制
 - ① 在宅当番医 川口市医師会
 - ② 小児救急医療支援事業（3病院）
- (チ) 救急医療情報システム 埼玉県救急医療情報センター（埼玉県県民健康センター内）

イ 蕨・戸田地区（蕨市・戸田市）

- (イ) 初期救急医療体制
 - ① 休日・平日夜間急患診療所
 - (一社) 蕨戸田市医師会立蕨休日・平日夜間急患診療所
 - (一社) 蕨戸田市医師会立戸田休日・平日夜間急患診療所
 - ② 在宅当番医（産婦人科）（2病院7診療所）
 - 診療日：日曜・祭日・年末・年始
- (ロ) 第二次救急医療体制 病院群輪番制 (4病院)
- (ハ) 第三次救急医療体制 埼玉県救命救急センター（川口市立医療センター内）
- (タ) 小児夜間救急医療体制 小児救急医療支援事業（2病院）
- (チ) 救急医療情報システム 埼玉県救急医療情報センター（埼玉県県民健康センター内）

(6) 救急医療対策協議会の開催

ア 川口地区救急医療対策協議会

- (イ) 構成員 医師会役員、歯科医師会長、救命救急センターを設置する病院代表、救命救急センター長、病院群輪番制病院代表、市長、市消防長、保健所長
計 15人

- (ロ) 開催日 平成26年2月13日(木)
- (ハ) 内容 ①川口地区救急医療活動の現状について
②県・保健所における救急医療への行政対応について

イ 蕨・戸田地区救急医療対策協議会

- (イ) 構成員 医師会役員、歯科医師会長、救命救急センター長、病院群輪番制病院代表、各市長、各市消防長、保健所長 計12人
- (ロ) 開催日 平成26年2月28日(金)
- (ハ) 内容 ①蕨・戸田地区救急医療活動の現状について
②県・保健所における救急医療への行政対応について

(7) 医療安全相談

医療に関する苦情や相談への対応及び医療機関の情報を提供を行いました。

平成25年度相談受付件数 215件

(8) 医療関係従事者数

平成24年12月31日現在 単位：人

区分	管内	川口市	蕨市	戸田市	埼玉県
医師	1,034	756	63	215	11,143
歯科医師	473	343	58	72	5,064
薬剤師	1,253	801	106	346	13,712
保健師	135	94	18	23	1,719
助産師	192	134	15	43	1,280
看護師	3,611	2,548	168	895	38,109
准看護師	1,141	784	92	265	14,877
歯科衛生士	420	290	52	78	4,730
歯科技工士	71	49	10	12	1,105

資料：医師・歯科医師・薬剤師「医師・歯科医師・薬剤師調査」厚生労働省、

保健師以下「医療関係従事者届集計結果」埼玉県保健医療部医療整備課

注) 1 隔年調査。

- 2 医師・歯科医師・薬剤師数は、住所地により届出のあった数値。医療に従事していない者を含む。
- 3 保健師以下は、免許を取得している者のうち就業している者で、業務に従事する就業地により届出のあった数値。

5 医師臨床研修

研修医が、医師としての人格を涵養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識し、①保健所の役割を理解すること、②臨床の中での地域保健・公衆衛生活動全般とのつながりを理解すること、③地域保健分野の人材養成に資することを目的として、医師臨床研修の地域保健研修を実施しました。

医師臨床研修は医師法改正により平成16年度から開始され、川口保健所における研修は平成17年度から実施しています。

ア 臨床研修病院名 済生会川口総合病院

イ 内容

地域保健・救急医療体制に関する講義、感染症に関する講義、QFT検査、精神保健・難病保健業務に関する家庭訪問、母子保健事業への参加、医療機関立入検査への参加、食品監視用務への参加等

ウ 受入総数 3人

エ 研修期間 1コース5日間（2コース実施）

オ 研修日程 平成25年12月 2日～ 6日 受入人数 2人

平成26年 1月20日～24日 受入人数 1人

6 学生実習

業務担当者による講義及び事業等に参加させることにより、医師・保健師・管理栄養士を目指す学生の公衆衛生への理解を深めました。

学 校 名	人 数	実 習 期 間
埼玉県立大学保健医療福祉学部	12	平成25年5月2日、6月3日、6月10日・11日
東都医療大学ヒューマンケア学部	12	平成25年5月2日、5月21日～23日
西武文理大学看護学部	11	平成25年5月2日、平成26年1月27日 1月30日・31日
埼玉医科大学保健医療学部	6	平成25年5月2日、11月14日・19日
目白大学看護学部	8	平成25年5月2日、6月12日・13日
日本保健医療大学保健医療学部	6	平成25年5月27日、5月28日～30日
女子栄養大学	2	平成25年10月21日～25日
十文字学園女子大学人間生活学部	1	平成25年11月5日～8日、11日
新潟大学医学部	1	平成25年9月11日・12日

7 地域健康長寿企画支援事業

保健所の機能強化方針（健康づくり情報提供機能の強化）に基づき、健康長寿埼玉の実現に向け、地域の健康状況の分析や環境整備等を通じた健康課題解決のための事業を企画・実施し、管内の市や事業所等における保健事業の支援を行いました。

日 時	内 容	参 加 者
健康長寿埼玉推進連絡会議 平成25年5月2日 10:00～12:00	健康増進計画、食育推進計画等	管内健康づくり及び栄養業務担当者 6名
市町村健康長寿情報担当者会議 平成25年12月11日 13:30～15:30	研修会 「摂食嚥下障害の歯科的対応について」 講師 蕨戸田歯科医師会 白根 雅之 氏	管内市保健衛生課及び介護保健担当課職員等 61名

8 健康長寿のための埼玉県地域・職域連携推進事業

生活習慣病予防対策を総合的に推進するために、地域保健と職域保健の連携をより一層強化して、効果的な健康長寿体制の構築を図りました。

(1) 健康課題対策支援事業

日 時	内 容	参 加 者
平成 25 年 6 月 17 日 9 : 30 ～11 : 15	市担当課との情報交換会 ・健康長寿プロジェクトの推進について ・各市の取組状況について（健康づくり事業、特定健診・特定保健指導、生活習慣病対策等）	管内市保健衛生課及び国保担当課、保健所 15名
平成 25 年 11 月 29 日 15 : 15 ～16 : 45	地域・職域連携推進会議 ・埼玉県における生活習慣病対策について ・国保データベース (KDB) システムの概要について	管内市保健衛生課及び国保担当課、商工会、健康保険組合、企業内診療所、保健所 30名
平成 26 年 1 月 15 日 9 : 30 ～11 : 30	講演会 「職場におけるメンタルヘルス」 講師 浦和神経サナトリウム 商 真哲 氏	管内市保健衛生課及び国保担当課、商工会、健康保険組合、企業内診療所、保健所 38名

(2) 特定健診受診率向上事業（地域健康長寿企画支援事業とあわせて実施）

日 時	内 容	参 加 者
平成 25 年 11 月 29 日 13 : 30 ～15 : 00	研修会 「草加市における特定健診受診率・特定保健指導実施率向上の取組」 講師 草加市健康福祉部保険年金課 成田 圭子 氏	管内市保健衛生課及び国保担当課、商工会、健康保険組合、企業内診療所、保健所 26名

(3) 効果的な保健指導実施支援事業

日 時	内 容	参 加 者
平成 25 年 6 月 11 日 14 : 00 ～16 : 30	講義及び事例検討 「禁煙の保健指導を成功させるために」 講師 埼玉県済生会川口総合病院 第2診療部長 佐藤 英明 氏	管内市保健衛生課及び国保担当課職員など保健指導従事者 20名
平成 26 年 3 月 3 日 13 : 30 ～16 : 00	講義及び事例検討 「合併症がある場合の検査値の見方とその指導方法について」 ～糖尿病、高脂血症、高血圧の合併症を中心に～ 講師 女子栄養大学 栄養クリニック 教授 蒲池 桂子 氏	管内市保健衛生課及び国保担当課職員など保健指導従事者 33名

III 保健予防推進担当

1 母子保健

(1) 母子保健訪問指導状況（根拠法令：母子保健法第19条）

平成25年度 単位：人

	計		妊産婦		未熟児を除く新生児		未熟児		未熟児・新生児を除く乳児		幼児		その他	
実施数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
	211	435	58	81	51	65	2	2	72	131	3	6	25	150

※ 未熟児訪問に関しては、平成25年度から市へ移譲された。

(2) 子どもの心の支援体制強化事業

ア 子どもの心の健康相談

子どもの心の健康問題に対応するため専門相談窓口を開設し、関係機関との連携や事例についての検討も重ね、次世代を担う子どもの健全育成を図ることを目的としています。

平成25年度 単位：件

	計	川口市	蕨市	戸田市
平成25年度相談件数	53	49	4	一

【主な相談内容】

発達障害、不登校、友人関係、暴力、衝動性、学校での生活、感情コントロール等

イ 子どもの心のネットワーク事業

○ 小児精神保健医療推進連絡会議

子どもの心の問題に対応するため、関係機関との情報交換、事例検討等を通して、保健、福祉、教育、医療等との連携を推進する目的で連絡会議を開催しました。

日 時	内 容	参 加 人 数	参 加 者 の 所属機関
平成25年 12月26日 13:30 ～16:30	研修会 「児童のメンタルヘルスと関係機関連携に関する事例検討 ～家族造形法によるスーパービジョン～」 講師：埼玉県立大学保健医療福祉学科教授 市村 彰英 氏	38人	保健センター 児童福祉主管課 小学校・中学校 特別支援学校 保健所

○ 子どもの心の問題に関する研修会

子どもの心の問題に対応するための最新の情報を学ぶ機会として、研修会を開催しました。

日 時	内 容	参加 人 数	参加者の 所属機関
平成26年 2月4日 14:00 ～16:00	講演会 「いじめのとらえ方 ～医学ができること～」 講師 獨協医科大学病院小児科 綾部 敦子 氏	39人	保健センター 児童福祉主管課 小学校・中学校 特別支援学校 保健所

○ ケースカンファレンス

子どもの心のネットワークづくりとして、ケースカンファレンスを実施しました。

日 時	内 容	参加 人 数	参加者の 所属機関
平成25年 5月 1日	ケースカンファレンス	19人	保健センター
平成25年 7月11日		26人	児童福祉主管課
平成25年 9月 4日		20人	小学校・中学校
平成25年11月 1日		19人	特別支援学校
平成26年 1月10日		19人	保健所
平成26年 3月10日		12人	

※ 実施時間はすべて14:00～16:30

(3) ふれあい親子支援事業

親の孤立感を軽減し、自分自身を語る時間をつくることにより、心身の安定を図り、虐待への危険を回避すること、併せて子どもと親にかかわる関係者の支援をしていくことを目的として平成12年度から実施しています。従事スタッフは、精神科医師、臨床心理士、保健師、保育士、保育ボランティアです。

グループミーティングの他、受理ミーティング、精神科医及び臨床心理士による個別面接、関係職員の研修会を実施しています。

○ 平成25年度グループミーティング等の実施状況

	延べ実施 回数(回)	参 加 者 数 等		
		母(人)	子(人)	スタッフのみの相談
グループミーティング	11	18	11	…
精神科医師個別面接	5	5	3	2
臨床心理士個別面接	6	6	6	7
受理ミーティング	9	検討事例数 12事例	延べ 103人	

○ 研修会実施状況

日 時	内 容	参加 人 数	参加者の 所属機関
平成 25 年 7月 10 日 14:00 ～16:30	テーマ 「母親の支援について」 ①「精神科医の立場から」 講師 きむらメンタルクリニック 医師 木村 武登 氏 ②「臨床心理士の立場から」 講師 済生会川口総合病院 臨床心理士 田熊 喜代巳 氏	34人	児童相談所、保健セ ンター、児童福祉主 管課、心身障害福祉 センター、保育園、 幼稚園、医療機関
平成 25 年 10月 31 日 14:00 ～16:45	講義とロールプレイ 「産後のメンタルヘルス～質問紙の活用～」	43人	保健センター、児童 福祉主管課、心身障 害福祉センター、児 童相談所、管内産科 医療機関
平成 26 年 2月 12 日 14:00 ～16:30	講義とロールプレイ 「EPDS高得点の母親への支援 ～ケースの見立てとその対応～」	18人	保健センター、児童 福祉主管課、心身障 害福祉センター、児 童相談所、管内産科 医療機関

(4) 長期療養児教室

小児慢性特定疾患医療給付受給者のうち、医療ケア（人工呼吸器、気管切開、在宅酸素、吸入、経管栄養、膀胱カテーテル）を行っている児童に対して、家族同士の交流及び情報共有を目的として実施しました。従事スタッフは、医師（小児科）、訪問看護師、保育士、看護師、親の会代表等です。

日 時	内 容	参加人数	
		児童	保護者
平成 25 年 10月 29 日 14:00 ～16:00	在宅医療ケア児と家族の交流会（てんとう虫グループ） ①小児科医による講義 「在宅で医療ケアを行うお子さんへの生活のアドバイス」 講師 光の家療育センター 医師 佐藤 千穂氏 ②グループトーク	10	11

(5) 周産期からの虐待予防強化事業

高度専門医療機関と地域保健機関が連携して、周産期から支援の必要と判断される事例を早期に把握して育児不安等を軽減させ、児童虐待の予防を図ることを目的としています。

平成25年度 単位：件

	計	川口市	蕨市	戸田市
事例数	88	71	11	6

(6) 保健所別連携調整会議

管内の母子保健に関する業務の円滑化を図り、母子保健業務に係する保健師の対応技術の向上を図ることを目的に会議及び研修会を開催しました。

	日 時	テーマ	参加者の所属機関	参加人数
研修会	平成25年 7月29日 14:30～16:45	「未熟児研修会」 講師 川口市立医療センター NICU部長 箕野崎 至宏 氏	保健センター、 療育機関、医療 機関、新生児訪 問受託助産院、 児童福祉担当課 児童相談所、 保健所	47
	平成25年 8月～10月 (7日間) 10:00～16:00	「NICU、発達外来見学実習」 講師 川口市立医療センター NICU 看護師長 鈴木 悅子 氏		14
管内 母子保健 連携調整 会議	平成25年 4月30日 9:30～11:45	・各機関の母子保健事業状況及び今年度 の予定について ・権限移譲後の情報交換	保健センター、 保健所	13
	平成26年 2月25日 14:00～16:30	・母子保健活動状況についての情報交換		13

(7) 母子保健医療給付事業

児童の健全な育成と福祉の向上のため、医療費等の給付を行いました。

なお、未熟児養育医療給付及び身体障害児育成医療給付については、平成25年度から市へ権限移譲となったため平成25年3月出生児の給付のみとなっています。

- ア 未熟児養育医療給付（根拠法令：母子保健法第20条） 平成25年度 7人
- イ 身体障害児育成医療給付（根拠法令：障害者自立支援法第58条の1項） 平成25年度 2人
- ウ 結核児童療育医療給付（根拠法令：児童福祉法第20条） 結核に罹患し入院治療を要する児童に対し、医療の給付及び学習用品・日用品を給付します。 平成25年度 なし
- エ 妊娠中毒症等療養援護 平成25年度 なし

才 小児慢性特定疾患医療給付（根拠法令：児童福祉法第21条の5）

小児慢性特定疾患の治療研究を推進し治療法の確立と普及を図るとともに、医療費の負担を軽減するため医療の給付を行いました。

○ 小児慢性特定疾患医療給付受給者数 平成26年3月31日現在 単位：人

病名	計	川口市	蕨市	戸田市
悪性新生物	110	82	6	22
慢性腎疾患	57	41	3	13
慢性呼吸器疾患	54	46	2	6
慢性心疾患	191	140	12	39
内分泌疾患	218	170	8	40
膠原病	29	23	4	2
糖尿病	36	29	1	6
先天性代謝異常	37	31	3	3
血友病等血液・免疫疾患	42	31	3	8
神経・筋疾患	25	20	1	4
慢性消化器疾患	20	17	—	3
計	819	630	43	146

(8) 不妊治療費助成事業

不妊に悩む夫婦が不妊治療を受けることによる経済的負担を軽減し、治療を受ける機会を増大することにより、少子化社会対策及び次世代育成支援の推進を図ることを目的として、平成16年度から開始となりました。経済的負担の軽減と併せて、不妊に関する相談も実施しています。

平成25年度 単位：件

	計	川口市	蕨市	戸田市
助成申請件数	1,046	768	60	218

(9) 受胎調節実地指導員指定（母体保護法第15条第1項）

平成25年度 単位：人

	新規	変更
指導員指定数	4	1

2 感染症予防

保健所では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、「感染症法」という。)に基づき、一類から五類までの感染症発生時の法的対応、発生動向の把握、予防、まん延防止等に努めています。

(1) 感染症対策

ア 平成25年度感染症患者発生状況（感染症発生動向調査から） 単位：件

三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12
	パラチフス	1
四類感染症	デング熱	1
	レジオネラ症	4
五類感染症	アメーバ赤痢	3
	ウイルス性肝炎	1
	急性脳炎	1
	後天性免疫不全症候群	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	6
	先天性風しん症候群	1
	梅毒	4
	風しん	68
	麻しん	6

※ 一類及び二類感染症（結核を除く。）の発生はなし。

※ 三類感染症の件数は、川口保健所管内居住者の発生数。

四類及び五類感染症の件数は、川口保健所管内の医療機関等からの発生届受理数。

イ 保菌検査（行政検便）

三類感染症発生時、まん延防止のため家族等接触者の保菌検査（検便）を実施しました。

	対象者	件数
平成25年度保菌検査（行政検便）	三類感染症接触者	37

ウ 感染症診査協議会

感染症法第24条（感染症の診査に関する協議会）に基づき設置されています。感染症患者等の就業制限、入院勧告、入院延長勧告及び同法第37条の2（結核患者の医療）の通院医療費公費負担申請の諮問についての診査と答申を行います。

協議会委員は、感染症指定医療機関の医師1名、感染症指定医療機関以外の医師2名及び司法書士1名の4名で構成されています。

○ 平成25年度感染症診査協議会診査状況（条文は感染症法による）

開催日数	出席委員数 (延べ人数)	就業制限 (第18条)	応急入院 (第19条)	入院勧告 (第20条第1項)	入院延長勧告 (第20条第4項)	結核患者の医療 (第37条の2)
24日	90名	86件	75件	73件	140件	301件

※ 就業制限86件のうち、結核患者に係るものが75件、3類感染症患者に係るものが11件。

※ 応急入院、入院勧告及び入院延長勧告は全て結核患者に係るもの。

(2) 結核対策

保健所では、結核患者への入院勧告・医療費公費負担等の法的対応とともに、服薬支援を中心とした療養支援、その家族・接触者に対する健康診断の実施による感染拡大の防止等、結核対策を重要な事業として、その対応に努めています。

ア 結核患者登録者数（潜在性結核感染症を除く。）

平成25年12月31日現在、感染症法に基づき当所に登録されている結核患者は456人でした。平成24年末の登録者数459人からは3人減少しましたが、埼玉県の登録者数の19.7パーセント、全国登録者数の0.9パーセントを占めています。

平成25年12月31日現在 単位：人

年 齢 階 層	登録者 計	活動性結核										不活動性結核	
		肺 結 核 計	登録時喀痰塗抹陽性			登録時 その他の 菌 陽性	登録時 菌陰性	肺外 結核 活動性					
			計	初回 治療	再治 療								
計	456	112	86	47	42	5	21	18	26	233			
0 - 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
5 - 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
10 - 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
15 - 19	2	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	1	
20 - 24	15	7	6	1	1	-	1	4	1	1	2		
25 - 29	25	6	5	1	1	-	-	4	1	1	9		
30 - 34	17	3	1	1	1	-	-	-	2	2	8		
35 - 39	35	8	6	2	2	-	1	3	2	2	21		
40 - 44	41	8	7	3	3	-	3	1	1	1	17		
45 - 49	37	4	2	1	1	-	1	-	2	2	23		
50 - 54	37	11	10	7	5	2	3	-	1	1	19		
55 - 59	23	4	4	2	2	-	1	1	-	-	12		
60 - 64	29	11	9	7	5	2	2	-	2	2	13		
65 - 69	42	11	9	4	4	-	2	3	2	2	17		
70 - 74	44	12	9	6	6	-	2	1	3	3	28		
75 - 79	39	6	4	3	3	-	1	-	2	2	26		
80 - 84	32	7	4	3	2	1	1	-	3	3	21		
85 - 89	31	9	6	5	5	-	1	-	3	3	15		
90 以上	7	4	3	-	-	-	2	1	1	1	1		
埼玉県	2,317	640	509	253	237	16	155	101	131	1,096			
全 国	49,814	13,957	10,830	5,676	5,257	419	3,631	1,523	3,127	24,259			

※ 埼玉県及び全国の数値は「結核の統計」公益財団法人結核予防会

※ 埼玉県にはさいたま市の数値を含まない。

イ 新規患者登録数（潜在性結核感染症を除く。）

平成25年中、新たに登録された結核患者は152人でした。平成24年中の新規登録者数181人と比して29人の減少となりましたが、埼玉県の新規登録者数の17.7パーセント、全国新規登録者数の0.7パーセントを占めています。

平成25年 単位：人

年 階 層	活動性結核								
	計	肺結核			活動性			肺外結核活動性	
		計	喀痰塗抹陽性		その他	結核菌陰性	その他		
計	152	124	67	61	6	32	25	28	
0 - 4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 - 9	-	-	-	-	-	-	-	-	
10 - 14	-	-	-	-	-	-	-	-	
15 - 19	2	2	1	1	-	1	-	-	
20 - 24	8	7	2	2	-	1	4	1	
25 - 29	8	7	3	3	-	1	3	1	
30 - 34	6	4	2	2	-	-	2	2	
35 - 39	9	7	1	1	-	2	4	2	
40 - 44	9	8	5	5	-	3	-	1	
45 - 49	6	5	2	2	-	3	-	1	
50 - 54	13	11	7	4	3	3	1	2	
55 - 59	5	5	3	3	-	1	1	-	
60 - 64	17	15	10	8	2	2	3	2	
65 - 69	16	13	5	5	-	5	3	3	
70 - 74	18	15	11	11	-	2	2	3	
75 - 79	9	7	4	4	-	3	-	2	
80 - 84	5	3	1	-	1	1	1	2	
85 - 89	16	12	8	8	-	3	1	4	
90 以上	5	3	2	2	-	1	-	2	
埼玉県	860	694	342	321	21	211	141	166	
全 国	20,495	15,972	8,119	7,584	535	5,470	2,383	4,523	

※ 埼玉県及び全国の数値は「結核の統計」公益財団法人結核予防会

※ 埼玉県にはさいたま市の数値を含まない。

ウ 登録時活動性分類別結核新登録患者数（潜在性結核感染症を除く。）

管内における登録時の肺結核喀痰塗抹陽性者の割合は44.1%で、埼玉県全体が39.8%であるのに比べて高くなっています。

平成25年 単位：人

登録時状況	管 内	埼 玉 県
肺結核喀痰塗抹陽性	67	342
肺結核その他の菌陽性	32	211
肺結核菌陰性・その他	25	141
肺外結核	28	166
計	152	860

※ 埼玉県の数値は「結核の統計」公益財団法人結核予防会

※ 埼玉県にはさいたま市の数値を含まない。

エ 結核新規登録患者罹患率（潜在性結核感染症を除く。）

当所管内の平成25年の結核罹患率は、人口10万対19.8（前年23.3）でした。埼玉県及び全国の罹患率と比較し、当所管内の罹患率が高い傾向が続いています。

年齢層	平成25年		平成24年	
	人 数	罹患率 (人口十万対)	人 数	罹患率 (人口十万対)
0~9歳	—	—	1	1.4
10~19歳	2	2.8	—	—
20~29歳	16	17.3	11	11.7
30~39歳	15	11.7	18	13.7
40~49歳	15	11.5	31	24.7
50~59歳	18	20.8	16	18.6
60~69歳	33	33.5	34	34.0
70~79歳	27	37.3	39	56.2
80歳以上	26	81.8	31	104.8
全年齢	152	19.8	181	23.3
埼玉県	860	14.4	902	15.1
全国	20,495	16.1	21,283	16.7

※ 当保健所管内の罹患率は、「埼玉県町（丁）字別人口調査結果」（埼玉県総務部統計課）による各年1月1日現在の人口統計から算出した。

※ 埼玉県及び全国の数値は「結核の統計」（公益財団法人結核予防会）

※ 埼玉県にはさいたま市の数値を含まない。

オ 潜在性結核感染症登録数

接触者健診（QFT検査・ツベルクリン反応検査）及びその後の精密検査の結果、発病を予防するために治療が必要と診断された者は、潜在性結核感染症として登録されます。服薬指導・公費診査等の対応は結核患者に対するものと変わりませんが、結核統計上は別掲となります。

単位：人

	平成25年	平成24年
管内	70	95
埼玉県	376	437
全国	7,147	8,772

※ 埼玉県及び全国の数値は「結核の統計」（公益財団法人結核予防会）

※ 埼玉県にはさいたま市の数値を含まない。

力 結核健康診断実施状況

結核と診断された者の接触者（家族、友人、職場同僚等）及び結核治療終了後の経過観察中の患者を対象として、胸部レントゲン撮影等の検査を実施しました。

○ 結核健康診断受診者数（延べ人数）

平成25年度 単位：人

実施機関	健診内容		
	ツバクリン反応検査	QFT検査	胸部レントゲン撮影
保健所	12	475	417
委託医療機関	31	—	65
検診車委託	—	—	172
合計	43	475	654

○ 結核健康診断被発見者数

平成25年度 単位：人

実施機関	結核患者	QFT検査陽性者
保健所	2	37
委託医療機関	—	—
検診車委託	—	—
合計	2	37

キ DOTS（直接服薬確認療法）カンファレンス実施状況

新規登録患者に治療完了を目的とした服薬支援を行っています。患者自身や患者を取り巻く状況を考慮し、患者に適した服薬支援方法を検討するため、カンファレンスを実施しました。

平成25年度

実施回数	24回
実施者数（延べ件数）	194件

ク 結核相談実施状況

平成25年度 単位：件

訪問		面接	電話
実件数	延べ件数	延べ件数	延べ件数
133	215	256	1,662

(3) エイズ、性感染症及びウイルス肝炎対策

エイズは、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）が免疫細胞に感染し、免疫細胞を破壊して後天的に免疫不全を起こす免疫不全症です。

保健所では、HIV及びその他の性感染症に関する健康相談や検査を実施することで、エイズ及び性感染症の予防や、患者及び感染者の早期発見に努めています。

当所では、毎月第一水曜日に即日検査、第三火曜日に通常検査を実施しています。

HIV及び性感染症 相談・検査件数 平成25年度 単位：件

検査件数（延べ件数）		計	男性	女性
HIV（エイズ）	通常	224	139	85
	即日	241	159	82
梅毒		205	125	80
クラミジア		105	67	38
HBV（B型肝炎）		225	140	85
HCV（C型肝炎）		226	140	86
相談件数（電話・面接 延べ件数）		1,107		

(4) 石綿（アスベスト）健康被害救済給付制度

県は独立行政法人環境再生保全機構から委託を受け、保健所で申請を受付けています。

申請受付件数 平成25年度 単位：件

本人申請分	認定申請、療養手当請求	4
遺族申請分	特別遺族弔慰金、特別葬祭料請求	—
	計	4

3 難病

(1) 医療費の公費負担

いわゆる難病のうち、特定の疾患[特定疾患、先天性血液凝固因子欠乏症(20歳以上)]に対して医療給付を行い、適正な医療の普及と医療費の負担軽減を図りました。

ア 特定疾患医療給付受給者数

平成26年3月31日現在 単位：人

	病名	計	川口市	蕨市	戸田市
1	ペーチエット病	111	94	6	11
2	多発性硬化症	87	64	4	19
3	重症筋無力症	104	77	12	15
4	全身性エリテマトーデス	338	260	26	52
5	スモン	6	6	—	—
6	再生不良性貧血	58	47	3	8
7	サルコイドーシス	97	67	9	21
8	筋萎縮性側索硬化症	32	26	3	3
9	強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎	238	202	14	22
10	特発性血小板減少性紫斑病	79	57	12	10
11	結節性動脈周囲炎	48	35	4	9
12	潰瘍性大腸炎	890	664	67	159
13	大動脈炎症候群	31	26	3	2
14	ビュルガー病	22	18	2	2
15	天疱瘡	28	22	3	3
16	脊髄小脳変性症	112	90	10	12
17	クローン病	199	151	16	32
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	—	—	—	—
19	悪性関節リウマチ	28	18	5	5
20	パーキンソン病関連疾患	418	346	36	36
21	アミロイドーシス	6	5	—	1
22	後縫靭帶骨化症	156	115	21	20
23	ハンチントン病	2	1	—	1
24	モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	66	44	8	14
25	ウエグナー肉芽腫	11	11	—	—
26	特発性拡張型(うつ血)心筋症	79	66	7	6
27	多系統萎縮症	57	43	7	7
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1	1	—	—
29	膿疱性乾癬	15	14	—	1
30	広範脊柱管狭窄症	33	26	3	4

	病名	計	川口市	蕨市	戸田市
31	原発性胆汁性肝硬変	88	64	11	13
32	重症急性膵炎	11	9	2	—
33	特発性大腿骨頭壞死症	44	35	6	3
34	混合性結合組織病	53	37	6	10
35	原発性免疫不全症候群	10	6	—	4
36	特発性間質性肺炎	28	22	3	3
37	網膜色素変性症	159	118	12	29
38	プリオン病	—	—	—	—
39	肺動脈性肺高血圧症	17	12	2	3
40	神経線維腫症	25	20	1	4
41	亜急性硬化性全脳炎	—	—	—	—
42	バッド・キアリ症候群	—	—	—	—
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	16	12	—	4
44	ライソゾーム病(ファブリー病含む)	5	4	1	—
45	副腎白質ジストロフィー	—	—	—	—
46	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	—	—	—	—
47	脊髄性筋萎縮症	2	2	—	—
48	球脊髄性筋萎縮症	6	5	1	—
49	慢性炎症性脱髓性多発神経炎	16	12	1	3
50	肥大型心筋症	7	6	—	1
51	拘束型心筋症	—	—	—	—
52	ミトコンドリア病	4	2	2	—
53	リンパ脈管筋腫症(LAM)	2	1	—	1
54	重症多形滲出性紅斑(急性期)	—	—	—	—
55	黄色靭帯骨化症	15	11	2	2
56	間脳下垂体機能障害	70	56	6	8
61	溶血性貧血	13	7	2	4
62	橋本病	4	2	—	2
64	特発性好酸球增多症候群	5	5	—	—
66	脊髄空洞症	7	6	1	—
70	原発性慢性骨髄線維症	—	—	—	—
71	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	—	2	—
	計	3,961	3,050	342	569

イ 先天性血液凝固因子欠乏症等医療給付受給者数

平成26年3月31日現在

単位：人

計	川口市	蕨市	戸田市
29	22	—	7

(2) 難病患者等ホームヘルパー養成研修

難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスを提供するため、必要な知識、技能を有するホームヘルパーの養成を図ることを目的として研修を実施しました。（難病基礎課程Ⅱ）

日 時	受講人数
平成25年11月26日	34

※ 鴻巣保健所と共に

(3) 相談等

平成25年度

来 所	訪 問
延べ 5,508人	延べ 95人

(4) 医療講演会等

強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎の患者及びその家族、関係機関職員を対象として医療講演会を開催しました。

日 時	内 容	参加人数
平成25年 9月10日 14:00～16:00	講演：「日常生活のポイント」 ～膠原病と上手に付き合いながら日常生活を送る～ 講師：かねこ内科リウマチ科クリニック 院長 金子 元英 氏	47

(5) ひまわりの会（筋萎縮性側索硬化症 患者家族のつどい）

平成24年度から毎月第2水曜日に開催しています。病気について、医療やサービス、介護についての話題を中心に、患者・家族の情報交換の場となっています。

平成25年度

実施回数	11回
参加者数	延べ 49人

(6) 難病相談業務ブロック会議（県南ブロック会議）

日 時	内 容	参加人数
平成26年1月29日 さいたま市保健所	難病事業・特定疾患事務について	12

4 原爆被爆者

(1) 健康手帳所持者数

平成26年3月31日現在 単位：人

計	川口市	蕨市	戸田市
168	126	16	26

(2) 各種手当の申請及び届出数

平成25年度

各種手当の項目	件 数
健 康 管 理 手 当 申 請	6
交 通 手 当 申 請	一
一 般 疾 病 医 療 費 支 給 申 請	16
記 載 事 項 変 更	11
そ の 他 の 申 請	95
計	128

5 肝炎治療医療費助成事業

肝炎治療受給者証申請交付件数

平成25年度

項 目	件 数
インターフェロン治療新規申請(3剤以外)	57
インターフェロン治療2回目申請	3
インターフェロン治療3剤併用申請	39
核酸アナログ製剤治療新規申請	56
核酸アナログ製剤治療更新申請	203
インターフェロン延長申請	5
記載事項変更	26
その他申請	119
計	508

6 健康づくり・栄養

(1) 栄養指導状況

栄養改善は健康保持の基本です。現在の日本の栄養水準は、国民健康・栄養調査からみても全体的には向上しているとされている一方で、健康面からの諸問題が提起されており、指導を行っています。

	個別指導				集団指導	
	栄養指導	病態別 (再掲)	訪問指導 (再掲)	運動指導	栄養指導	病態別 (再掲)
20歳未満	—	—	—	—	—	—
20歳以上	5	—	—	—	224	90

(2) 国民健康・栄養調査

平成25年国民生活基礎調査地区により設定された単位区から無作為抽出で指定された地区内の世帯及び世帯員を調査対象として調査を行いました。

調査日	調査地区 所在市	調査内容	世帯数及び世帯員
平成25年11月11日	川口市	栄養摂取状況調査 身体状況調査 生活習慣状況調査	8世帯 13世帯員

(3) 栄養関係団体育成事業

ア 在宅栄養土学習会

	研修内容	参加者数
月1回 (延べ14回) 原則として 毎月第2木曜日	・「地域における食育活動」のための自主学習 ・保健所からの情報提供等	延べ88人

イ 川口保健所管内給食研究会

日 時	研 修 内 容 及 び 講 師	参加人数
平成 25 年 6 月 14 日 13:30~14:45	講演会 「食品衛生について」 講師 川口保健所 食品監視担当職員	5 9
平成 25 年 12 月 11 日 13:30~15:30	講演会 「摂食・嚥下障害の歯科的対応について」 講師 埼玉県歯科医師会 地域保健部 白根 雅之 氏 「ノロウイルスによる食中毒について」 講師 川口保健所 食品監視担当職員	2 3
平成 26 年 1 月 29 日 14:00~16:00	講演会 「食物アレルギーについて」 講師 済生会川口総合病院 小児科主任部長 大山 昇一 氏 「食物アレルギー対応食品について」 講師 (株)サンワールド 「摂食回復支援食について」 講師 イーエヌ大塚製薬(株) 「あいーと」	2 9

ウ 食生活改善推進員協議会

日 時	研 修 内 容 及 び 講 師	参加人数
平成 25 年 5 月 28 日 10:00~12:00	「栄養・健康情報の正しい見分け方」 講師 女子栄養大学生涯学習講師 澤坂 明美 氏 「熱中症予防について」 講師 川口保健所 保健予防推進担当職員	6 5
平成 25 年 10 月 23 日 10:00~12:00	「子どもの食育について」 正しい食習慣・生活習慣の重要性について 講師 (株) ヤクルト本社首都圏支店 百合本 真弓 氏	5 9

(4) 川口保健所管内栄養士連絡調整会議

平成19年度より管内3市の保健センター（川口市保健センター、蕨市保健センター、戸田市福祉保健センター）の栄養士と連絡会議を実施しています。

日 時	内 容
平成25年5月2日 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度栄養関係事業について ・食生活改善推進員への支援と人材育成について ・震災発生時の栄養関係の対応について ・健康増進計画・食育推進計画の進捗状況について ・その他

(5) 埼玉県全面禁煙・空間分煙実施施設認証制度

受動喫煙防止対策を推進するために、平成16年7月から、埼玉県全面禁煙・空間分煙実施施設認証制度を実施しています。

単位：施設

	全面禁煙	空間分煙
平成25年度認証施設数	32	一
平成16年度からの累計	543	3

(6) 埼玉県給食施設栄養管理指導実施要綱に基づく指導・助言

健康増進法に基づき、特定かつ多数の者に対して継続的に食事を供給する施設における栄養管理等の実施について必要な指導・助言等を行うとともに、年に1回栄養管理状況報告書の提出を求めています。

平成25年度

実地指導	指導・助言	報告書提出
63施設	279件	316施設

7 歯科保健

地域歯科保健連携支援事業として、地域の歯科医師等による地域における歯科保健医療サービスについて、講演及び意見交換研修会を行い、保健所、関係機関職員、地域の歯科医師、歯科衛生士との連携を図ることを目的に実施しました。

日 時	内 容	参加人数
歯科保健研修会 平成25年 10月24日 9:30～12:00	<p>講演「平成25年度埼玉県小児う蝕予防事業について」「介護予防について」</p> <p>講師 埼玉県歯科医師会地域保健部 白根 雅之 氏 ・グループワーク</p> <p>テーマ①「フッ化物洗口を進めるために取り組むべきことは」 テーマ②「口腔機能の低下を防ぐために取り組むべきことは」</p>	42

8 精神保健福祉

(1) 申請・通報対応（根拠法令：精神保健福祉法第23条～26条）

ア 申請・通報による精神保健診察及び措置件数

平成25年度 単位：件

区分	計	一般 (23条)	警察官 通報 (24条)	検察官 通報 (25条)	保護 観察所 (25条の2)	矯正 施設 (26条)	精神病院 の管理者 (26条の2)
申請通報件数	112	1	82	9	—	20	—
精神保健診察件数	89	—	82	6	—	1	—
措置入院件数	60	—	52	7	—	1	—

イ 緊急措置入院後再診件数

平成25年度 単位：件

計	措置入院件数	他の形態での入院件数
1	1	—

(2) 精神保健福祉相談（根拠法令：精神保健福祉法第47条）

ア 相談件数

平成25年度 単位：件

	訪問	面接	電話・メール
実件数	260	299	…
延べ件数	655	560	4601

※ 電話及びメールによる相談は延べ件数のみ把握している。

イ 専門相談

平成25年度

	被相談者	実施回数	相談延べ件数
精神保健福祉相談	精神科医師	18回	34件
ひきこもり相談	臨床心理士	8回	13件

(3) 社会適応訓練事業（事業開始S58～・根拠法令：精神保健福祉法第50条）

精神障害者に協力の得られる事業所において、社会適応の訓練場面（仕事）を提供することにより精神科疾患の再発防止と社会的自立を促進し、精神障害者の社会参加を図ることを目的としています。

・平成25年度の利用者 なし

(4) 地域精神保健推進事業（根拠法令：精神保健福祉法第2条、46条）

ア 川口保健所管内地域精神保健福祉連絡協議会

管内の精神保健福祉等関係機関の連携強化により精神障害者の支援体制を推進し、もって精神保健福祉事業をより円滑にするために平成8年度に設置し、保健所再編により平成18年度新たに発足しました。

平成25年度は、「自殺対策の推進」をテーマに開催しました。

実施日	内 容	参加人数
平成25年4月26日 精神保健福祉連絡会	(管内の担当者会議) ・情報交換及び意見交換 各市、保健所及び精神保健福祉センターにおけるH25年度体制と事業計画	19
平成25年7月12日 精神保健福祉連絡協議会 (関係機関の長の会議)	テーマ： 「自殺対策の推進、管内の自殺対策の取り組みの現状とハイリスク者（新型うつ病患者）の理解と対応」 ・各機関からの自殺対策等の報告 ・報告を受けての助言及び情報提供 助言者 戸田病院 認知症疾患医療センター センター長 井口 喬 氏	25

イ 地域精神保健福祉講演会

住民の心と健やかさをより高めること、また、精神障害者やその家族の福祉の増進を図ることを目的として実施しています。

実施日	内 容	参加者
平成26年 2月20日	講演会 「医師から見たピアソーターの効果と可能性」 講師 東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科 教授 白石 弘巳 氏	当事者、家族、 民生委員、 関係機関職員等 68人

ウ 自殺対策関連事業（事業開始 H18～・根拠法令：自殺対策基本法第50条）

(7) アルコール依存症講演会

自殺防止対策の視点から、アルコール関連問題に関する普及啓発を行いました。

（共催 公益社団法人埼玉県断酒新生会）

実施日	内 容	参加者
平成26年 1月18日	①講演 「アルコール依存症の理解と対応～当事者・家族支援の『いま』」 講師 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 埼玉県済生会鴻巣病院 院長 関 紳一 氏 ②体験発表・報告 アルコール依存症本人及び支援者	一般市民、 関係者 65人

(イ) 薬物依存症対策事業

平成21年2月から、薬物依存症家族の集いを行っています。

家族の集い実施回数	平成25年度 月1回 (年12回)
参加延べ人数	69人
平成25年度特別講座 平成25年12月24日	「他では聞けないダルクの話」 講師 埼玉ダルク 所長 辻本 俊之 氏

(ウ) うつ病対策事業

うつ病に対する事業を平成18年度から行っています。また、うつ病当事者の集い「ナチュラリー」を平成20年度から行っています。

「ナチュラリー」実施回数	平成25年度 月1回 (年12回)
参加延べ人数	69人
平成25年度特別講座 平成26年2月25日	「うつ病・双極性障害を中心とした 精神科で使用する薬剤について」 講師 埼玉県立精神医療センター 精神科認定看護師 新井 純子 氏

(エ) 職域保健、保健、医療、福祉等職員を対象とした研修会

職域関係職員に対するメンタルヘルス関連の普及啓発を目的とした研修会を自殺防止対策の視点から行いました。

実施日	内 容	参加者
平成26年 1月15日	「職域におけるメンタルヘルス～うつの理解と対応～」 講師 筑波大学 産業精神医学、宇宙科学グループ 東京都職員共済組合 健康管理医（精神科） 浦和神経サナトリウム 商 真哲 氏	関係者 38人

エ ひきこもり対策事業

ひきこもりに対する事業を平成17年度から行っています。

(ア) ひきこもり講演会

ひきこもりについての理解を深め、支援体制の確立を図るために講演会を行いました。

実施日	内 容	参加者
平成25年 9月21日	「不登校、ひきこもりの理解と対応」 ～社会とつながる支援にむけて 家族や周囲ができること～ 講師 福島学院大学専任講師 臨床心理士 須田 誠 氏	一般市民 関係者 50人

- (1) 不登校・ひきこもり家族の集い
平成18年2月から行っています。

実施回数	平成25年度 月1回(年12回)
参加延べ人数	127人

才 精神障害者地域移行支援事業

当保健所では平成20年度から事業に参画しています。

(7) 地域移行支援協議会(参画)

受入条件が整えば退院可能な精神障害者の地域移行に向けた支援の推進を目的とし、県が相談支援事業者等に委託して実施しています。

管内では、医療法人高仁会に委託し、ハートフル川口が事業をすすめており、協力病院、管内相談支援事業所、各市等の参画により協議会が開催(平成25年度8回)されています。

(1) 地域移行支援事業連絡会議

保健所は、地域移行支援協議会へ参画するとともに市町村等の後方支援を実施しています。

実施日	内 容	対象及び 参加人数
平成25年 11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・報告「精神障害者地域移行支援事業の概要について」 県福祉部障害者福祉推進課 影山 浩司氏 ・実践報告 秩父地域における取組について <ul style="list-style-type: none"> ① 医療法人 全和会 生活支援センターアクセス 施設長 新井 康代 氏 ② 秩父当事者会モンペール 会員2名 	対象:管内市、 相談支援事業所等 32人
平成26年 1月20日	講演 「精神保健福祉法改正と保護者制度」 講師 東京アドヴォカシー法律事務所 所長 池原 肇和 氏	対象:管内市、 相談支援事業所等 52人
平成26年 3月14日	シンポジウム 「わたしの日常・生活」 司会進行 川口市精神障害者の会 よつば シンポジスト 当事者5名	対象:管内市、 相談支援事業所、 当事者団体等 57人

IV 生活衛生・薬事担当

1 食品衛生

食品の安全の確保を図るため、営業者に対して施設の衛生管理、食品の適正な取扱い及び自主検査の励行などの指導を実施しました。また、県民に対して食中毒予防の啓発に努めました。

(1) 業種別施設数

平成26年3月31日現在 単位：施設

区分	合計	施設数		
		計	川口市	蕨市
総計	12,667	9,022	1,391	2,254
法に関するもの	合計	9,998	7,155	1,129
	飲食店営業	6,119	4,506	763
	喫茶店営業	681	423	72
	菓子製造業	584	433	56
	あん類製造業	3	2	—
	アイスクリーム類製造業	4	3	—
	乳処理業	1	—	—
	乳製品製造業	3	—	—
	乳類販売業	1,146	791	116
	食肉処理業	59	42	1
	食肉販売業	587	413	54
	食肉製品製造業	5	2	—
	乳酸菌飲料製造業	2	1	—
	魚介類販売業	575	404	54
	魚肉ねり製品製造業	8	6	1
	食品の冷凍又は冷蔵業	63	26	—
	清涼飲料水製造業	4	2	1
	冰雪製造業	2	—	2
	冰雪販売業	5	3	1
	食用油脂製造業	5	3	—
	みそ製造業	5	4	—
	醤油製造業	1	—	—
	ソース類製造業	5	2	1
	豆腐製造業	30	26	1
	納豆製造業	—	—	—
	めん類製造業	28	16	4
	そうざい製造業	62	37	2
	かん詰又はびん詰食品製造業	2	2	—
	添加物製造業	9	8	—
条例に関するもの	合計	2,184	1,552	212
	菓子種製造業	2	1	—
	こんにゃく類製造業	7	4	2
	つけ物製造業	40	34	2
	魚介類加工業	18	9	—
	食料品販売業	2,078	1,474	200
届出	行商	39	30	8
	合計	485	315	50
	給食施設	373	244	44
	器具容器包装おもちゃの製造業	2	1	—
	その他の製造業	110	70	6
				34

(2) 業種別許可件数等

平成25年度 単位：件

区分		新規 許可件数	更新 許可件数	廃業届出 件数
総計		1,102	918	1,079
法に 関する もの	合計	871	780	910
	飲食店営業	560	494	589
	喫茶店営業	50	51	85
	菓子製造業	45	53	35
	あん類製造業	-	-	-
	アイスクリーム類製造業	-	-	2
	乳処理業	-	-	-
	乳製品製造業	-	-	-
	乳類販売業	84	70	92
	食肉処理業	3	5	3
	食肉販売業	59	50	45
	食肉製品製造業	-	-	-
	乳酸菌飲料製造業	-	-	-
	魚介類販売業	50	42	38
	魚肉ねり製品製造業	2	-	-
	食品の冷凍又は冷蔵業	4	3	5
	清涼飲料水製造業	-	-	-
	冰雪製造業	-	-	1
	冰雪販売業	1	-	1
	食用油脂製造業	-	-	-
	みそ製造業	1	-	1
	醤油製造業	-	-	-
	ソース類製造業	-	-	-
	豆腐製造業	-	-	6
条例に 関する もの	納豆製造業	-	-	-
	めん類製造業	4	3	4
	そうざい製造業	8	5	3
	かん詰又はびん詰食品製造業	-	-	-
	添加物製造業	-	1	-
届出	合計	206	138	155
	菓子種製造業	1	-	1
	こんにゃく類製造業	-	-	-
	つけ物製造業	1	5	2
	魚介類加工業	2	1	2
	食料品販売業	199	132	146
届出	行商	3	-	4
	合計	25	-	14
	給食施設	15	-	12
	器具容器包装おもちゃの製造業	1	-	1
	その他の製造業	9	-	1

(3) 講習会等実施状況

平成25年度は合計15回、1,215人に食品衛生講習を実施しました。

平成25年度

名 称	開催回数(回)	参加人数(人)
食品従事者研修	6	120
食品衛生実務講習会	3	655
一般県民向け講習会	6	440

(4) 食中毒等発生状況

平成25年度に、当所管内で発生した食中毒事故は1件、患者数4人でした。

また、県内・外において発生した食中毒等に関連して行った調査は42件で、調査対象数は患者等101人、施設5件でした。

発生日	発生場所	患者数	原因食品	原因物質
平成25年 10月8日	川口市	4人	キノコと野菜の炒め物 ※患者らが、東京都内の公園に生えていたキノコを採取し、家庭で野菜とともに調理して喫食したもの。	キノコの 毒成分

(5) 食品関連苦情受付状況

平成25年度は266件の苦情・相談を受付けました。

平成25年度 単位：件

内容	有症	取扱い不良	異物	虫	カビ	表示	異味異臭	その他	合計
件数	94	38	28	13	5	18	9	61	266

(6) 食中毒予防啓発事業

当所では、川口食品衛生協会及び戸田・蕨食品衛生協会と協働して、食中毒予防キャンペーンを開催しました。

日 時 平成25年8月4日(日)

会 場 第35回川口市たら祭り会場(川口オートレース場内)

内 容 啓発資材の配布(うちわ、ティッシュ、リーフレット 各1,000部)
のぼり旗、横断幕の掲示等

2 動物指導

飼い犬の登録及び狂犬病予防注射の実施徹底を図るとともに、犬の正しい飼い方などの普及啓発を行いました。

また、動物取扱業等の施設に対し、立ち入り指導を実施しました。

(1) 登録・狂犬病予防注射頭数

平成25年度 単位：頭

	登 錄 数	注 射 数
計	33,377	21,400
川口市	25,669	16,312
蕨市	2,544	1,990
戸田市	5,164	3,098

(2) 犬の苦情・相談件数

平成25年度 単位：件

計	捕 獲	苦 情 ・ 相 談 内 訳					
		引取り	放し飼い	咬傷事故	糞 尿	鳴き声	その他
計	479	136	54	33	37	24	64
川口市	391	111	43	30	32	23	56
蕨市	34	12	3	2	4	—	2
戸田市	33	11	7	1	—	—	6
管轄外	21	2	1	—	1	1	—
							16

(3) 犬の抑留業務状況及び咬傷犬届出数

平成25年度

総 数	抑 留 犬 (頭)			咬 傷 事 故	
	内 訳		畜 主 返 還 数	咬 傷 件 数 (件)	被咬傷者数 (人)
	捕 獲	飼養放棄犬の 引 取 り			
110	89	21	47	23	23

(4) 動物取扱業の登録件数

平成26年3月31日現在 単位：件

計	業種内訳						
	販売	保管	貸出し	訓練	展示	競り あっせん	譲受 飼養
計	277	95	127	13	34	7	—
川口市	212	73	99	10	24	5	—
蕨市	20	5	12	—	3	—	—
戸田市	45	17	16	3	7	2	—

(5) 特定動物の飼養許可件数

平成25年度

	飼養許可件数 (件)	飼養目的	動物の種類
計	23	—	—
川口市	21	販売・愛玩	アミメニシキヘビ、ボアコンストリクター、 インドニシキヘビ(ビルマニシキヘビ) ドクトカゲ、ワニガメ、ニホンザル
蕨市	—	—	—
戸田市	2	販売・愛玩	ボアコンストリクター、メガネカイマン

3 環境衛生

(1) 環境衛生関係施設数及び監視指導件数

環境衛生関係の営業施設の多くは、住民の日常生活に密着したサービスを供するものであり、その衛生的な環境の確保は特に重要です。そこで、法令等に定められた衛生基準の適合状況について審査して施設の確認及び許可を行い、その後も継続した監視指導を実施しました。

平成25年度 単位：件

		平成26年3月31日現在施設数				許可 又は 届出数	廃止 届出数	監視 指導数
		計	川口市	蕨市	戸田市			
	計	2,988	2,224	316	448	112	313	691
営業 関係 施設	計	2,766	2,068	293	405	86	312	659
	理容所	614	451	72	91	20	39	139
	美容所	1,041	803	113	125	49	91	255
	クリーニング所	942	696	89	157	10	162	187
	旅館	67	47	5	15	4	7	37
	公衆浴場（一般）	25	13	6	6	—	3	4
	（その他）	67	52	6	9	2	9	31
特定 建築 物	興行場	10	6	2	2	1	1	6
	計	196	139	19	38	21	1	—
	特定建築物	91	62	14	15	2	1	—
ブル	登録営業所	105	77	5	23	19	—	—
	計	26	17	4	5	5	—	32
	公営	13	8	2	3	5	—	19
	民営	13	9	2	2	—	—	13

※ 公衆浴場のその他には、サウナ、保養休養等の施設を含む。

(2) 水質検査実施状況

住民から依頼を受けて、埼玉県衛生研究所で検査を実施しました。

平成25年度 単位：件

		検査件数	適合	不適合	適合率 (%)
計		14	13	1	93
飲 料 水	上水道	5	5	—	100
	専用 水道	—	—	—	—
	簡易専用水道	3	3	—	100
	その他の水道	2	2	—	100
	井水	4	3	1	75

(3) 衛生害虫等による住居衛生苦情・相談件数

住居にいる害虫等の苦情や相談に対応しました。建築物の構造の変化、冷暖房の普及、住民の生活様式の多様化に伴い、室内におけるカビ、ダニの発生やシックハウス等生活環境に係る問題が生じています。

平成25年度 単位：件

	シック ハウス	ネズミ	ハチ	ダニ	チャタ テムシ	ユスリ カ	アリ	カ 力	シバン ムシ	その他	合計
苦情 相談 件数	5	38	4	7	—	—	2	1	3	23	83

4 薬事衛生

医薬品の品質、有効性及び安全性を確保するため、薬事法に基づき薬局等の監視指導を行いました。また、毒物・劇物及び麻薬などの取扱いについても、保健衛生上の危害を防止するため、指導取締りを行いました。

(1) 薬事関係施設数及び監視件数

平成25年度 単位：件

業種		平成26年3月31日現在施設数				新規申請	更新申請	廃止届	監視件数
		管内計	川口市	蕨市	戸田市				
医 薬 品 等	計	758	539	88	131	67	36	47	173
	薬局	268	199	31	38	23	17	18	68
	薬局製造業	29	19	10	—	1	—	—	1
	店舗販売業	143	94	17	32	14	—	11	46
	卸売般販売業	56	39	4	13	4	4	4	9
	高度管理医療機器販売・賃貸業	262	188	26	48	25	15	14	49
	管理医療機器販売業	797	601	77	119	43	—	14	5

(2) 毒物劇物関係施設等数及び監視件数

平成25年度 単位：件

		平成26年3月31日現在施設数				新規申請	更新申請	廃止届	監視件数
		管内計	川口市	蕨市	戸田市				
	計	348	261	26	61	21	16	22	51
製造業	大臣登録分	4	2	—	2	—	—	—	2
	知事登録分	22	17	2	3	1	3	2	3
輸入業	大臣登録分	5	3	—	2	—	—	—	1
	知事登録分	3	2	—	1	—	—	—	—
	一般販売業	222	167	18	37	14	11	16	37
	農業用品目販売業	23	18	3	2	—	2	—	6
	特定品目販売業	18	15	—	3	2	—	—	1
	電気めっき事業	29	22	2	5	—	—	—	—
	金属熱処理事業	2	2	—	—	—	—	—	—
	毒物劇物運送業	4	3	—	1	—	—	—	—
	特定毒物研究者	16	10	1	5	4	—	4	1

(3) 麻薬等取扱者数

	平成26年3月31日現在 取扱者数(人)	平成25年度 申請件数(件)
計	1,061	565
麻薬使用者	805	417
麻薬管理者	70	34
麻薬小売業者	182	112
麻薬研究者	4	2

(4) 献血状況

平成25年度

	目標人数(人)	献血者数(人)	達成率(%)
計	9,413	5,698	60.5
川口市	6,608	3,959	59.9
蕨市	1,090	683	62.7
戸田市	1,715	1,056	61.6

※ 移動採血車分

(5) 薬物乱用防止対策

川口保健所と川口保健所管内薬物乱用防止指導員協議会は、協働して薬物乱用防止対策事業を行っています。

啓発活動

- ・ 不正大麻・けし撲滅運動
- ・ 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動
- ・ 麻薬・覚せい剤乱用防止運動
- ・ 青少年啓発キャンペーンの実施

平成25年8月4日 第35回川口市たら祭り会場にて実施

啓発品(うちわ、ティッシュ) 2,000個配布

- ・ 学校等における講習会等の実施

114校実施 参加者 59,295人

V 食品監視担当

埼玉県では、川口保健所、春日部保健所、狭山保健所及び熊谷保健所の4か所に食品監視担当を設置し、食中毒事故の発生と違反食品の製造・流通を未然に防止するため、監視指導や収去検査を行っています。

当担当は、当所及び朝霞保健所の2保健所管内の9市1町を所管し、平成25年度において延べ5,005件の監視指導、356検体(11,241項目)の食品検査及び13回の衛生講習会(受講者848人)を実施し、食品に起因する事故防止に努めました。

平成25年度埼玉県食品衛生監視指導計画に基づき、HACCPの概念に基づく自主衛生管理の普及に努めるとともに、広域に流通する食品を製造する大規模施設や大量調理施設や、ノロウイルス及びカンピロバクターによる食中毒防止を図るため、保育園や生食用食肉等を提供する施設等の監視指導を重点的に実施しました。

1 食品監視担当業務概況（保健所統括表）

平成25年度				
		計	川口保健所 管内	朝霞保健所 管内
監視等	監視業種数	5,005	2,868	2,137
	違反食品発見数	17	8	9
収去	収去等検査検体数(延べ数)	356	225	131
	不適件数*	8	7	1
通報・届出等による違反等の処理数		125	83	42
行政 処分等	行政処分	-	-	-
	始末書等	40	27	13
	その他の措置	85	56	29
食中毒 調査 協力	出動日数	-	-	-
	出動人員	-	-	-

* 収去等の不適件数には、衛生規範も含む。

2 監視対象業種別施設数

(1) 法による許可を要する業種

平成25年4月1日現在

単位：施設

営業の種類	計	川口保健所管内	朝霞保健所管内
飲食店営業／計	10,484	6,146	4,338
飲食店営業／一般食堂・レストラン等	3,220	1,843	1,377
飲食店営業／仕出し・弁当屋	433	280	153
飲食店営業／旅館	81	54	27
飲食店営業／その他	6,750	3,969	2,781
喫茶店営業	1,617	716	901
菓子製造業	1,038	574	464
あん類製造業	4	3	1
アイスクリーム類製造業	8	6	2
乳処理業	1	1	-
特別牛乳さく取処理業	-	-	-
乳製品製造業	6	3	3
集乳業	-	-	-
乳類販売業	2,333	1,154	1,179
食肉処理業	85	59	26
食肉販売業	1,048	573	475
食肉製品製造業	6	5	1
魚介類販売業	1,025	563	462
魚介類せり売り営業	-	-	-
魚肉ねり製品製造業	7	6	1
食品の冷凍又は冷蔵業	92	64	28
食品の放射線照射業	-	-	-
清涼飲料水製造業	8	4	4
乳酸菌飲料製造業	2	2	-
冰雪製造業	3	3	-
冰雪販売業	9	5	4
食用油脂製造業	7	5	2
マーガリン又はショートニング 製造業	2	-	2
みそ製造業	8	5	3
醤油製造業	3	1	2
ソース類製造業	10	5	5
酒類製造業	1	-	1
豆腐類製造業	66	36	30
納豆製造業	1	-	1
めん類製造業	70	28	42
そうざい製造業	103	57	46
かん詰又はびん詰食品製造業	4	2	2
添加物製造業(法)	22	9	13
計	18,073	10,035	8,038

(2) 法による許可を要しない業種

平成25年4月1日現在 単位：施設

営業の種類	計	川口保健所管内	朝霞保健所管内
給食施設／計	715	370	345
給食施設／学校	153	70	83
給食施設／病院・診療所	74	44	30
給食施設／事業所	110	54	56
給食施設／その他	378	202	176
添加物製造業（法以外）	-	-	-
氷雪採取業	-	-	-
器具容器包装おもちゃの製造業	1	1	-
食品製造業（法以外）	199	102	97
計	915	473	442

(3) 条例による許可を要する業種

平成25年4月1日現在 単位：施設

営業の種類	計	川口保健所管内	朝霞保健所管内
菓子種製造業	3	2	1
こんにゃく製造業	10	7	3
つけ物製造業	79	41	38
魚介類加工業	28	18	10
食料品販売業	3,828	2,025	1,803
小計	3,948	2,093	1,855
行商／計	72	40	32
魚介類	2	-	2
食料品	43	29	14
豆腐	27	11	16
計	4,020	2,133	1,887

平成25年4月1日現在 単位：施設

食料品販売業（再掲）	計	川口保健所管内	朝霞保健所管内
野菜果物販売業	778	403	375
そうざい販売業	1,324	695	629
菓子（パンを含む）販売業	2,974	1,600	1,374
食品販売業（上記以外）	2,720	1,371	1,349
添加物の販売業	576	332	244
器具・容器等製造業又は販売業	676	372	304
計	9,048	4,773	4,275

4 違反食品等発見処理状況

発見・通報・届出数	違反理由等														行政処分等									
	法違反				その他				行政処分				始末書等				その他							
	第6	第10	第11	第19	第2	第50	第の	その他の	營業許可の取消	食品等の回収	食品等の返品	食品等の廃棄	營業の禁停止	未書	頭説	口諭	調査依頼	現地調査指導等	合計					
合計	125	13	8	59	22	-	-	102	7	16	23	125	-	-	-	-	22	18	40	-	85	85	125	
監視等担当内	管内製品	17	-	-	17	-	-	17	-	-	17	17	-	-	-	-	-	17	17	-	-	17		
外製品	管外製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
県外製品	管外製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
内取扱去等	管内製品	8	-	-	1	-	-	1	7	-	7	8	-	-	-	-	-	8	-	8	-	8		
外製品	管外製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
発見等	管外製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計	25	-	-	1	17	-	-	18	7	-	7	25	-	-	-	-	-	8	17	25	-	-	25	
管内	通報	8	1	-	2	-	-	3	-	5	5	8	8	-	-	-	-	8	-	8	-	8		
外	管外	2	-	-	1	-	-	1	-	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-	2	2	2		
県外	通報届出	90	12	8	57	3	-	80	-	10	10	90	-	-	-	-	-	6	1	7	-	83		
計	100	13	8	58	5	-	-	84	-	16	16	100	-	-	-	-	-	14	1	15	-	85	85	100

注：1 処理内容において同一施設、行政処分が重複した場合は、すべて計上した。

2 処理内容において同一施設、行政処分とその他の処理が重複した場合は、行政処分だけを計上した。

3 処理内容において同一施設、その他の処理だけで項目が重複した場合は、上位一つを計上した。

第3部 川口保健所管内の人団動態統計

<第3部の統計表の比率の解説>

$$\text{① 出生率・死亡率・自然増加率・婚姻率・離婚率} = \frac{\text{年間の件数} \times 1,000}{\text{人口}}$$

※上記計算に使用した人口について

全国及び県は「平成24 年人口動態統計（確定数）の概況（厚生労働省）」による日本人口
管内及び市は、埼玉県総務部統計課「平成24 年10 月1 日現在推計人口（総人口）」

$$\text{② 乳児死亡率・新生児死亡率} = \frac{\text{乳児・新生児死亡数} \times 1,000}{\text{出生数}}$$

※乳児死亡：生後1年未満の死亡 新生児死亡：生後4週（28日）未満の死亡

$$\text{③ 周産期死亡率} = \frac{\text{妊娠満22週以後の死産数+早期新生児（生後1週未満）死亡数} \times 1,000}{\text{出産（出生+妊娠満22週以後の死産）}}$$

$$\text{④ 死産率（自然死産率・人工死産率）} = \frac{\text{死産（自然・人工）数} \times 1,000}{\text{出産（出生+死産）数}}$$

※死産：妊娠満12週（第4月）以後の死児の出産

<第3部の統計表の表章記号>

— 計数のない場合

… 計数不明の場合又は計数を表章することが不適切な場合・ 統計項目のあり得ない場合

0.0 数値が微少（0.05 未満）の場合

△ 減を表す場合

<第3部の統計表の資料出所>

第1, 8表：「人口動態統計（平成24年確定値）」厚生労働省

「平成24年埼玉県の人口動態概況（確定数）」埼玉県保健医療部保健医療政策課

第2～7表：「人口動態統計」厚生労働省、

「埼玉県の人口動態概況」埼玉県保健医療部保健医療政策課

「保健統計年報」埼玉県保健医療部保健医療政策課

第9表：「埼玉県の合計特殊出生率」埼玉県保健医療部保健医療政策課

第10表：国勢調査年（昭和60年、平成2, 7, 12, 17, 22年）は「国勢調査」（総務省統計局）、

それ以外の年は「埼玉県の推計人口」埼玉県総務部統計課

※ 平成23年の川口市の数値は、合併前の鳩ヶ谷市との合計である。

（平成23年10月11日合併）

第1表 平成24年人口動態総覧

単位：出生・死亡 人、死産 胎、婚姻・離婚 件、率 %

区分		全国	埼玉県	管内	川口市	蕨市	戸田市
出生	実数	1,037,231	56,943	6,954	4,950	556	1,448
	率	8.2	8.0	9.1	8.8	7.8	11.5
死亡	実数	1,256,359	59,137	5,882	4,514	641	727
	率	10.0	8.3	7.7	8.0	9.0	5.8
自然増加	実数	△ 219,128	△ 2,194	1,072	436	△ 85	721
	率	△ 1.7	△ 0.3	1.4	0.8	△ 1.2	5.7
乳児死亡	実数	2,299	114	20	16	1	3
	率	2.2	2.0	2.9	3.2	1.8	2.1
新生児死亡	実数	1,065	50	9	8	-	1
	率	1.0	0.9	1.3	1.6	-	0.7
死産	実数	24,800	1,390	172	131	13	28
	率	23.4	23.8	24.1	25.8	22.8	19.0
自然死産	実数	11,448	693	90	67	6	17
人工死産	実数	13,352	697	82	64	7	11
周産期死亡	実数	4,133	249	37	29	1	7
	率	4.0	4.4	5.3	5.8	1.8	4.8
妊娠満22週以後の死産	実数	3,343	207	29	22	1	6
早期新生児死亡	実数	790	42	8	7	-	1
婚姻	実数	668,869	36,776	4,887	3,487	455	945
	率	5.3	5.2	6.4	6.2	6.4	7.5
離婚	実数	235,406	13,434	1,728	1,299	148	281
	率	1.87	1.89	2.27	2.31	2.07	2.23

第8表 平成24年死因順位別死亡数、死亡率（人口10万対：国・県（総数））

(1) 総数

単位：人、（ ）は人口10万対

順位	全国	埼玉県	管内	川口市	蕨市	戸田市
全死因	1,256,359	59,137	5,882	4,514	641	727
1位	悪性新生物 360,963 (286.6)	悪性新生物 17,818 (250.0)	悪性新生物 1,818	悪性新生物 1,427	悪性新生物 184	悪性新生物 207
2位	心疾患 (高血圧性除く) 198,836 (157.9)	心疾患 (高血圧性除く) 10,325 (144.9)	心疾患 (高血圧性除く) 1,039	心疾患 (高血圧性除く) 796	心疾患 (高血圧性除く) 111	心疾患 (高血圧性除く) 132
3位	肺炎 123,925 (98.4)	肺炎 5,972 (83.8)	脳血管疾患 577	脳血管疾患 428	脳血管疾患 72	脳血管疾患 77
4位	脳血管疾患 121,602 (96.5)	脳血管疾患 5,517 (77.4)	肺炎 532	肺炎 402	肺炎 55	肺炎 75
5位	老衰 60,719 (48.2)	老衰 2,201 (30.9)	自殺 175	自殺 123	老衰 35	自殺 32

(2) 男

単位：人、（ ）は人口10万対

順位	全国	埼玉県	管内	川口市	蕨市	戸田市
全死因	655,526	32,440	3,329	2,553	356	420
1位	悪性新生物 215,110 (350.8)	悪性新生物 10,986	悪性新生物 1,131	悪性新生物 882	悪性新生物 124	悪性新生物 125
2位	心疾患 (高血圧性除く) 92,976 (151.6)	心疾患 (高血圧性除く) 5,252	心疾患 (高血圧性除く) 527	心疾患 (高血圧性除く) 406	心疾患 (高血圧性除く) 49	心疾患 (高血圧性除く) 72
3位	肺炎 66,386 (108.2)	肺炎 3,252	脳血管疾患 318	脳血管疾患 239	脳血管疾患 39	脳血管疾患 40
4位	脳血管疾患 58,625 (95.6)	脳血管疾患 2,793	肺炎 285	肺炎 222	肺炎 23	肺炎 40
5位	不慮の事故 23,714 (38.7)	自殺 1,042	自殺 116	自殺 80	自殺 13	自殺 23

(3) 女

単位：人、（ ）は人口10万対

順位	全国	埼玉県	管内	川口市	蕨市	戸田市
全死因	600,833	26,697	2,553	1,961	285	307
1位	悪性新生物 145,853 (225.7)	悪性新生物 6,832	悪性新生物 687	悪性新生物 545	心疾患 (高血圧性除く) 62	悪性新生物 82
2位	心疾患 (高血圧性除く) 105,860 (163.8)	心疾患 (高血圧性除く) 5,073	心疾患 (高血圧性除く) 512	心疾患 (高血圧性除く) 390	悪性新生物 60	心疾患 (高血圧性除く) 60
3位	脳血管疾患 62,977 (97.4)	脳血管疾患 2,724	脳血管疾患 259	脳血管疾患 189	脳血管疾患 33	脳血管疾患 37
4位	肺炎 57,539 (89.0)	肺炎 2,720	肺炎 247	肺炎 180	肺炎 32	肺炎 35
5位	老衰 45,982 (71.1)	老衰 1,660	老衰 117	老衰 79	老衰 26	老衰 12

第9表 合計特殊出生率の年次推移
(旧所管)

年次	全 国	埼玉県	旧戸田・蕨 保健所管内	蕨 市	戸田市	旧川口 保健所管内	川口市	鳩ヶ谷市
H8	1.43	1.37	1.52	1.21	1.72	1.36	1.36	1.37
9	1.39	1.31	1.48	1.16	1.66	1.31	1.32	1.20
10	1.38	1.28	1.36	1.20	1.45	1.27	1.28	1.18
11	1.34	1.23	1.28	1.10	1.39	1.26	1.26	1.29
12	1.36	1.40	1.32	1.17	1.52	1.36	1.37	1.20
13	1.33	1.24	1.32	1.14	1.43	1.22	1.22	1.22
14	1.32	1.23	1.28	1.04	1.42	1.24	1.24	1.22
15	1.29	1.21	1.31	1.09	1.44	1.20	1.20	1.19
16	1.29	1.20	1.20	1.05	1.29	1.21	1.21	1.27
17	1.26	1.22	1.33	1.07	1.47	1.33	1.32	1.42

(新所管)

年次	全 国	埼玉県	管 内	川口市	蕨 市	戸田市	鳩ヶ谷市
H18	1.32	1.24	1.26	1.25	1.02	1.39	1.30
19	1.34	1.26	1.24	1.22	1.10	1.36	1.29
20	1.37	1.28	1.26	1.25	0.97	1.41	1.40
21	1.37	1.28	1.27	1.24	1.08	1.39	1.43
22	1.39	1.32	1.45	1.43	1.23	1.60	1.47
23	1.39	1.28	1.24	1.21	1.12	1.42	...
24	1.41	1.29	1.26	1.24	1.11	1.46	...

注：1 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

なお、この表の数値は5歳階級の人口で算出している。

2 率の算出に用いた人口

「各年1月1日現在埼玉県町（丁）字別人口（総人口）埼玉県総務部統計課
国勢調査年（平成12, 17, 22年）は、「国勢調査人口（日本人口）」総務省統計局

3 国勢調査年は日本人口で算出するため、総人口で算出されるその他の年に比べ、率が高くなる傾向にある。

4 平成12年の市町村別は国勢調査人口（日本人口）を用いて算定しなおしたため、「平成12年保健統計年報」（埼玉県健康福祉部健康福祉政策課）の数値とは異なる。

第10表 管内人口の年次推移

単位：人
管内合計 川口市 藤原市 戸田市 嶺ヶ谷市

年次	管内合計		川口市		藤原市		戸田市		嶺ヶ谷市			
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
S 6 0	605,807	308,915	296,892	403,015	204,587	198,428	70,408	35,798	34,610	76,960	40,339	36,621
H 2	656,339	337,685	318,654	438,680	224,779	213,901	73,620	37,848	35,772	87,599	46,162	41,437
7	674,210	345,945	328,265	448,854	229,073	219,781	72,021	36,958	35,063	97,571	51,526	46,045
8	678,292	347,889	330,403	449,998	229,634	220,364	71,690	36,835	34,855	100,928	53,117	47,811
9	682,773	350,252	332,521	452,155	230,756	221,399	71,357	36,670	34,687	103,969	54,746	49,223
1 0	687,416	352,573	334,843	455,221	232,113	223,108	71,293	36,663	34,630	106,073	55,938	50,135
1 1	691,242	354,393	336,849	457,933	233,465	224,468	71,583	36,754	34,829	106,991	56,355	50,636
1 2	693,647	356,112	337,535	460,027	235,011	225,016	71,063	36,641	34,422	108,039	56,809	51,230
1 3	701,403	360,038	341,365	465,685	237,938	227,747	71,131	36,665	34,466	109,225	57,384	51,841
1 4	708,306	363,310	344,996	470,245	240,109	230,136	70,972	36,483	34,489	111,133	58,255	52,878
1 5	715,637	366,987	348,650	475,546	242,743	232,803	70,952	36,389	34,563	112,873	59,207	53,666
1 6	723,096	370,476	352,620	480,888	245,199	235,689	70,379	36,046	34,333	114,875	60,208	54,667
1 7	725,140	373,130	352,010	480,079	246,310	233,769	70,010	35,747	34,263	116,696	61,254	55,442
1 8	732,616	376,992	355,624	486,062	249,361	236,701	69,916	35,680	34,236	117,455	61,727	55,728
1 9	740,065	380,633	359,432	491,335	251,912	239,423	70,228	35,890	34,338	118,419	62,055	56,364
2 0	748,833	384,947	363,886	497,274	254,748	242,526	70,606	36,069	34,537	120,329	63,068	57,261
2 1	755,880	388,328	367,552	501,769	256,806	244,963	71,234	36,430	34,804	121,817	63,773	58,044
2 2	756,087	387,282	368,805	500,598	255,780	244,818	71,502	36,394	35,108	123,079	64,080	58,999
2 3	757,367	387,261	370,106	500,813	255,397	245,416	71,796	36,461	35,335	123,909	64,479	59,430
2 4	760,675	388,136	372,539	563,299	286,738	276,561	71,389	36,143	35,246	125,987	65,255	60,732
2 5	766,101	390,416	375,685	566,006	287,727	278,279	71,342	36,125	35,217	128,753	66,564	62,189

注：1 各年10月1日現在。

2 嶺ヶ谷市は平成23年10月1日川口市と合併した。

第4部 関係団体等

1 埼玉県南部保健医療圏地域保健医療協議会委員名簿

(平成26年6月1日現在)

氏名	所属	氏名	所属
徳竹 英一	川口市医師会	井口 喬	戸田病院
金子 健二	蕨戸田市医師会	植田 富美子	蕨市母子愛育会
中村 勝文	川口歯科医師会	榎本 美知子	川口市食生活改善推進員協議会
金子 直司	蕨戸田歯科医師会	安田 恒一	川口市
小寺 慶二	川口薬剤師会	川崎 文也	蕨市
藤井 源三	蕨市薬剤師会	松山 由紀	戸田市
亀井 雄幸	戸田市薬剤師会	浅川 共子	南部地域振興センター
柄木 武一	川口市立医療センター	榎本 淳一	南児童相談所
原澤 茂	済生会川口総合病院	田中 義枝	川口保健所
原田 容治	戸田中央総合病院		

2 川口地区救急医療対策協議会委員名簿

(平成26年7月1日現在)

氏名	所属	氏名	所属
徳竹 英一	川口医師会	増田 剛	埼玉協同病院
新谷 仁	川口医師会	長沢 俊治	武南病院
長江 厚	川口医師会	田辺 知宏	東川口病院
柄木 武一	川口市立医療センター	中村 勝文	川口歯科医師会
直江 康孝	川口市立医療センター	奥ノ木 信夫	川口市
益子 博	益子病院	榎本 和夫	川口市消防本部
原澤 茂	済生会川口総合病院	田中 義枝	川口保健所
矢口 輝仁	川口工業総合病院		

3 埼玉県蕨・戸田地区救急医療対策協議会委員名簿

(平成26年7月1日現在)

氏名	所属	氏名	所属
金子 健二	蕨戸田市医師会	直江 康孝	川口市立医療センター
公平不二雄	蕨戸田市医師会	賴高 英雄	蕨市
金子 直司	蕨戸田歯科医師会	神保 国男	戸田市
佐藤 茂範	蕨市立病院	堤 明広	蕨市消防本部
原田 容治	戸田中央総合病院	森谷 精太郎	戸田市消防本部
中島 昌人	中島病院	田中 義枝	川口保健所

4 埼玉県川口保健所感染症診査協議会委員名簿

(平成26年4月1日現在)

氏名	所属	氏名	所属
益子 健康	益子病院	飯野 朗子	飯野医院
竹本 淳紀	済生会川口総合病院	堀内 美由紀	ほりうち司法書士事務所

5 蕨・戸田地区保健医療協議会役員名簿

(平成26年7月1日現在)

役職名	氏名	所属・職名
会長	金子 健二	蕨戸田市医師会会長
副会長	賴高 英雄	蕨市長
同	神保 国男	戸田市長
同	田中 義枝	埼玉県川口保健所長
幹事	福田 純	蕨戸田市医師会理事
同	亀井 雄幸	戸田市薬剤師会会長
同	藤井 忠之	獣医師会蕨戸田分会長
同	海野 智	蕨戸田歯科医師会副会長
同	山崎 さおり	川口保健所副所長
同	中川 幸子	戸田市福祉保健センター所長
同	石丸 岳広	蕨市保健センター所長
監事	佐藤 茂範	蕨市立病院長
同	飯島 昌一	戸田市立市民医療センター所長
会計	大森 幸男	蕨戸田市医師会事務局長

6 管内関係団体

(平成26年7月1日現在)

名 称	所 在 地	電 話	備 考
川口市医師会	川口市本町4-1-8	227-5811	川口センタービル4F
蕨戸田市医師会	戸田市新曽1295-3	445-1131	
川口歯科医師会	川口市上青木西1-20-3	255-5665	産業文化会館1F
蕨戸田歯科医師会	戸田市上戸田3-3-4	445-6708	金子歯科クリニック内
蕨・戸田地区保健医療協議会	蕨市北町2-12-15	431-5590	蕨市保健センター内
埼玉県獣医師会川口分会	川口市芝6990	268-7679	漆原 方
埼玉県獣医師会戸田・蕨分会	戸田市笛目4-19-16	421-8030	藤井 方
川口薬剤師会	川口市本町3-3-8	222-7500	中央薬局 2 F
蕨市薬剤師会	蕨市中央4-14-1	431-2243	藤井 方
戸田市薬剤師会	戸田市喜沢1-16-16	080-5690-7844	亀井 方
川口地区助産師会	戸田市下前2-2-12	284-6362	助産院未来
川口食品衛生協会	川口市前川1-11-1	262-9292	川口保健所内
戸田・蕨食品衛生協会	川口市前川1-11-1	262-8364	川口保健所内
川口保健所管内環境衛生協会	戸田市中町1-20-15	443-4002	長岡 方
川口市狂犬病予防協会	川口市青木2-1-1	258-1110	川口市役所内(保健衛生課)
川口保健所管内戸田・蕨狂犬病予防協会	戸田市大字上戸田1-18-1	443-3706	戸田市役所内(環境クリーン推進課)
埼玉県川口保健所管内薬物乱用防止指導員協議会	川口市前川1-11-1	262-6111	川口保健所内
川口市献血推進連絡協議会	川口市幸町1-6-18	258-1110	川口市役所内(保健衛生課)
蕨市献血推進連絡協議会	蕨市北町2-12-15	431-5590	蕨市保健センター内
蕨市母子愛育会	蕨市北町2-12-15	431-5590	蕨市保健センター内
戸田市母子愛育会	戸田市大字上戸田5-6	446-6484	戸田市福祉保健センター内
川口市食生活改善推進員協議会	川口市青木2-1-1	258-1110	川口市役所内
蕨市食生活改善推進員会	蕨市北町2-12-15	431-5590	蕨市保健センター内
戸田市食生活改善推進員会	戸田市大字上戸田5-6	446-6484	戸田市福祉保健センター内
川口調理師会	川口市前川1-11-1	262-9292	川口保健所内
川口保健所管内給食研究会	戸田市本町1-19-3	442-1111	戸田中央総合病院内

保健所年報 第62号

平成25年度版

(平成26年10月発行)

埼玉県川口保健所

〒333-0842

川口市前川1丁目11番1号

TEL 048-262-6111(代表)

FAX 048-261-0711

Mail h626111@pref.saitama.lg.jp

HP <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/h19/>



彩の国 埼玉県